### 学校コード F108310111971 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 専門職大学の設置

注1



注2

アール医療専門職大学

### 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

### 学校法人筑波学園 令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 法人事務局

電話番号 029-824-7611

(夜間) 090-9386-0642

e — mail suzuki@a-ru.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「○○大学大学院」

- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b\_menu/toukei/mext\_01087.html

# 目次

111	ハビニ	」テ・	ー ミノ	⊐`	ン学部
") /	ر ب	, ,	_		ノーロり

< 理	<b>L</b> 学療法学科>	ペーシ	)
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	1
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	2
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	3
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 2	6
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3	1

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人筑波学園

- (2) 大 学 名 アール医療専門職大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒300-0032 茨城県土浦市湖北二丁目10番35号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(トヤ トシコ) <b>戸谷 聰子</b> (昭和62年11月)	ı	
学長	(ヤナギ ヒサコ) <b>柳 久子</b> (令和4年4月)		
学 部 長	(ナカートオル ) <b>中 徹</b> (令和4年4月)	I	
学科長等	(ナカートオル ) <b>中 徹</b> (令和4年4月)	_	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3) 令和4年度に報告する内容 → (4)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください (作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について (依頼) を 確認してください)。
  - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	学生募集の停	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	止について	) 用 行	
リハビリテーション学部理学療法学科	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4	40	年次	160		
理学療法学士(専門職)		年	人	人	人		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30	年度	令和え	年度	令和 2	2年度	令和:	3 年度	令和 4	4 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	春季入学 そ	の他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	1/#	75
	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	40人	一人				
A 入学定員	( — [ —	)	( <u> </u>	- ) - ]	( <u>-</u>	- ) - ]	( - [ -	- ) - ]	( - [ -	- ) - ]				
志願者数	— ( ( — ) ( [ — ] [	— — ) — ]	— ( — ) [ — ]	77 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]									
受験者数	— ( ( — ) ( [ — ] [	— — ) — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	75 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1. 07倍	—倍		
合格者数	— ( ( — ) ( [ — ] [	— — ) — ]	— ( — ) [ — ]	43 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]									
B 入学者数	— ( ( — ) ( [ — ] [	— — ) — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	43 ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]				
入学定員超過率 B/A	_	-		_		_		_	1.	07				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出 してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0 年度	令和克	年度	令和 2	2年度	令和 (	3年度	令和 4	4 年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	NĦ	75
		_	_	_	_	_	_	_	_	43	_		
	1 年次	[ _ ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ - ]		
		( — )	(-)	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )				
				_	_	_	_	_	_	_	_		
	2 年次					[ — ]					[ — ]		
-				( — )	(-)	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )		
	3 年次					[ - ]	[ - ]				[ - ]		
						( — )	(-)	( — )	( — )	( — )	( — )		
	4 年 75												
	4 年次							[ - ]		[ - ]	[ — ]		
								( — )	( — )	( — )	.3		
	計	г –	_ 1	г -	- 1	г -	- 1	г	- 1	4   r	اد.		
	пі	( _	_ ) _ 1	( -	_ )	( -	_ ) _ ]	( -	_ ) _ 1	( -	_ )   _ ı		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
対象年度			入学した年度	~.	うち留学生数	(出す土が存出は「自己)
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	<b>.</b>	平成30年度	人	人	
71 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	^	^	令和元年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	Д	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	43 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

### (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

### 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 0 #DIV/0! % 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a) % 令和4年度の在学者数(b)

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### 2 授業科目の概要

### <リハビリテーション学部 理学療法学科>

### (1) 一① 授業科目表

### 【認可時又は届出時】

予防医学

公衆衛牛学

リハビリテーション概論

地域包括ケアシステム論 3前

保健医療福祉論

3後

1前 1

1後 1

2後

1

1

1

#### 単位数 専任教員等の配置 単位数 専任教員等の配置 任 科日 科目 当 当年 授業科目の名称 授業科日の名称 選 必 選 白 教 助 助 必 白 教 淮 藩 肋 兼担 次 次 扣 ф 埓 塪 大学入門セミナ 大学入門セミナ 1前 社会人基礎力 社会人基礎力 1前 1 1 1前 1 1 教育学 教育学 1前 1 2 1前 ジェンダー論 ジェンダー論 1前 1 1前 マナー接遇 マナー接遇 1前 1 1 1前 社会学 1前 社会学 1前 1 1 文化人類学 1後 文化人類学 生命倫理学 生命倫理学 1後 1後 1 1 発生生物学 発生生物学 1後 1後 1 1 データサイエンス 1後 データサイエンス 1後 1 1 基 法情報リテラシー 法情報リテラシー 1後 1後 災害支援論 I 1後 1 1 災害支援論 I 1後 礎 礎 災害支援論Ⅱ 災害支援論Ⅱ 2前 2前 1 1 人間関係論 科 人間関係論 2前 1 2前 1 アクセシビリティリーダー論 2後 アクセシビリティリーダー論 2後 1 目 日 運動障害・健康障害と心理 運動障害・健康障害と心理 3前 1 1 3前 スポーツ理論・実技 I【\*】 スポーツ理論・実技 [【\*】 1前 2 1前 2 1 スポーツ理論・実技Ⅱ【\*】 スポーツ理論・実技 Ⅱ【\*】 1後 2 1後 健康と食の科学 1後 1 健康と食の科学 1後 健康教育学 健康教育学 1後 1後 1 1 1 健康科学 1後 健康科学 1後 1 1 英語コミュニケーション I 1前 1 英語コミュニケーション I 1前 革語コミュニケーション Ⅱ 革語コミュニケーション Π 1後 1 1 1後 中国語 中国語 2前 2前 1 1 韓国語 韓国語 2前 2前 小計(25科目) 12 13 0 4 0 1 0 0 17 小計(25科目) 13 0 4 0 1 0 0 12 人体構造学 I 1前 人体構造学 I 1前 1 1 1 1 人体構造学Ⅱ 1後 人体構造学Ⅱ 1後 生理学 T 1前 1 1 生理学 T 1前 牛理学Ⅱ 牛理学Ⅱ 1後 1 1 1後 人体構造学実習【\*】 人体構造学実習【\*】 1通 1通 2 1 2 生理学実習【\*】 生理学実習【\*】 1後 1後 1 運動学 I 運動学 I 2前 1 1 2前 1 運動学Ⅱ 運動学Ⅱ 2後 2後 1 1 1 運動生理学 運動生理学 2前 2前 1 1 人間発達学 2前 1 1 人間発達学 2前 運動学実習【\*】 運動学実習【\*】 2前 1 1 1 2前 神経解剖学 2前 神経解剖学 2前 1 1 1 業 病理学 業 病理学 2前 2前 1 内科学 2前 1 1 内科学 2前 1 専 整形外科学 整形外科学 2前 1 2前 神経内科学 神経内科学 2前 2前 1 精神医学 2前 精神医学 2前 小児科学 小児科学 科 2前 1 1 私 2前 リハビリテーション医学 2後 リハビリテーション医学 2後 1 1 目 スポーツ障害学 2後 スポーツ障害学 2後 老年医学 老年医学 2後 1 1 2後 1 薬理学 薬理学 2後 2後 1 救急救命学 2後 救急救命学 2後 1 画像診断学 2後 2 画像診断学 2後 リハビリテーション栄養学 リハビリテーション栄養学 3前 3前 1 1

### 【令和4年度】

任

兼担

2

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

17

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

2

1

1

1

1

予防医学

公衆衛生学

リハビリテーション概論

地域包括ケアシステム論 3前

保健医療福祉論

3後

1前

1後 1

2後

1

1

		配単位数				専任教員等の配置					兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	理学療法概論I	1前	1			1					
	理学療法概論Ⅱ	1後	1			1					
	理学療法基礎セミナーI	1前	1			1					
	理学療法基礎セミナーII 早期体験実習 I【*】	1後	1			1					
	早期体験実習Ⅱ【*】	1後 2後	1			1		1			
	医療関係法規論	3後	1			'		'			1
	理学療法管理学	4前	1			1					
	理学療法評価学 I	2前	1					1			
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1					1			
	理学療法評価学実習 I【*】	2前	1			1		1			
	理学療法評価学実習 Ⅱ【*】	2後	1					2			
	動作分析学	3前	1			1					
	動作分析学実習【*】	3後	1			1					1
	健康マネジメント論	2前		1							1
	日常生活活動学 物理療法学	2前 2後	1			1					1
	物理療法学 運動療法学実習【*】	2伎 3前	1			1		1			
	運動器障害系理学療法学Ⅰ	3前	1			'		'			1
	運動器障害系理学療法学Ⅱ	3後	1								1
職	運動器障害系理学療法学実習 [【*】	3前	1								1
業	運動器障害系理学療法学実習 Ⅱ【*】	3後	1								1
未	神経障害系理学療法学 I	3前	1				1				
専	神経障害系理学療法学Ⅱ	3後	1				1				
BB	神経障害系理学療法学実習 [【*】	3前	1				1				
門	神経障害系理学療法学実習 [[*]	3後	1				1				
科	内部障害系理学療法学 I 内部障害系理学療法学 II	3前 3後	1					1			2
	内部障害系理学療法学実習【*】	3前	1					1			2
目	発達障害系理学療法学	3前	1			1		'			_
	発達障害系理学療法学実習[*]	3前	1			1					
	義肢装具学	3前	1								1
	運動障害・健康障害の自立活動論・指導法	3前		1							1
	老年期障害系理学療法学	3後	1					1			
	老年期障害系理学療法学実習【*】	3後	1					1			1
	スポーツ障害系理学療法学	3後		1							1
	生活環境学	3後	1	_							1
	集団支援論サクセスフルエイジング論	3前		1							1
	地域理学療法学	3前 3前	1	1				1			1
	バリアフリー論	3後	1								1
	地域理学療法学実習【*】	3前	1			1		1			
	子ども支援学	4前		1							2
	通所・訪問リハビリテーション実習【臨】	1後	1			1		1			
	臨床実習 I【臨】	2後	1			1		2			
	臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			2		3	1		
	臨床実習皿[臨]	4前	7			2	1	2	1		
	臨床実習Ⅳ【臨】	4後	7	_	_	2	1	2	1	_	0.1
	小計(78科目)	- 1	88	6	0	20	2	12	2	0	31
	地域創生論	1前	2								1
	世代間交流論	1前	2								1
展	リーダーシップマネジメント論	2後	2								1
	高齢者健康づくり政策論	3後		2							1
開	学校運営論	3後		2							2
科	経営組織論	4前	2								1
	ヘルスケアマーケティング論	4前		2							1
目	就労支援サービス論	4前		2							1
	教育相談	4前		2							1
	経営のための法律		2	_							
	元百のための太年	十亿	۲ ا							l	'

11 T		配业	È	单位数	女	専	任教	員等		置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	  理学療法概論 I	1前	<u>修</u>	択	由	授 1	授	師	教	手	担
	理学療法概論Ⅱ	1後	1			1					
	理学療法基礎セミナーI	1前	1	i		1			i		
	理学療法基礎セミナーⅡ	1後	1			1					
	早期体験実習 I【*】	1後	1			1		1			
	早期体験実習 Ⅱ【*】	2後	1	i		1		1	i		
	医療関係法規論	3後	1	i					i		1
	理学療法管理学	4前	1	i		1			i		
	理学療法評価学 I	2前	1	i				1	i		
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1	i				1	i		
	理学療法評価学実習 I【*】	2前	1	i		1		1	i		
	理学療法評価学実習 Ⅱ【*】	2後	1					2			
	動作分析学	3前	1			1					
	動作分析学実習【*】	3後	1	١.		1			i		1
	健康マネジメント論	2前	_	1							1
	日常生活活動学 物理療法学	2前	1			1					
	物理療法字 運動療法学実習【*】	2後	1			,		4			1
	理 期 療 法 子 美 首 【 * 】 運動器障害系理学療法学 I	3前 3前	1			1		1			4
	運動器障害系理学療法学 II	3制	1			l					1
職	運動器障害系理学療法学実習 [[*]	3前	1								1
	運動器障害系理学療法学実習Ⅱ[*]	3後	1			l					1
業	神経障害系理学療法学I	3前	1				1				
専	神経障害系理学療法学Ⅱ	3後	1				l i				
守	神経障害系理学療法学実習 [【*】	3前	1	i			l i		i		
門	神経障害系理学療法学実習Ⅱ【*】	3後	1	i			1		i		
	内部障害系理学療法学 I	3前	1	i				1	i		2
科	内部障害系理学療法学 II	3後	1					1			2
目	内部障害系理学療法学実習[*]	3前	1					1			2
Н	発達障害系理学療法学	3前	1			1					
	発達障害系理学療法学実習【*】	3前	1	i		1			i		
	義肢装具学	3前	1								1
	運動障害・健康障害の自立活動論・指導法	3前		1					i		1
	老年期障害系理学療法学	3後	1					1			
	老年期障害系理学療法学実習[*]	3後	1	i				1	i		1
	スポーツ障害系理学療法学	3後		1					i		1
	生活環境学	3後	1								1
	集団支援論	3前		1					i		1
	サクセスフルエイジング論	3前	_	1							1
	地域理学療法学バリアフリー論	3前	1			l		1			4
	ハリア フリー im 地域理学療法学実習【*】	3後 3前	1			1		1			1
	<sup>地域母子療法子美</sup>	3削 4前		1				'			2
	一 こ ひ 又 1友 一 通所・訪問リハビリテーション実習[臨]	4削 1後	1	<b>'</b>		1		1			_
	臨床実習I【臨】	2後	1			1		2			
	臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			2		3	1		
	臨床実習皿【臨】	4前	7			2	1	2	1		
	臨床実習Ⅳ【臨】	4後	7			2	1	2	1		
	小計(78科目)	_	88	6	0	20	2	12	2	0	31
	地域創生論	1前	2			Ė					1
	世代間交流論					l					
		1前	2			l					1
展	リーダーシップマネジメント論	2後	2								1
BP.	高齢者健康づくり政策論	3後		2		l					1
開	学校運営論	3後		2		l					2
科	経営組織論	4前	2			l					1
17	ヘルスケアマーケティング論	4前		2		l					1
目	就労支援サービス論	4前		2		l					1
	かり スタッー L へ端	サ月リ				I	Ī		l		Ι'
	<b>- 4. 本</b> 1. **	عدہ		_		1					
	教育相談 経営のための法律	4前	2	2		1					1

74 D		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
展開	財務会計論	4後	2								1
科目	小計(11科目)	-	12	10	0	0	0	0	0	0	13
総	理学療法研究法演習I	4前	2			5	1	1			
合	理学療法研究法演習Ⅱ	4後	1			5	1	1			
科	応用理学療法学演習	4後	1			1	1	1	1		
目	小計(3科目)	-	4	0	0	5	1	1	1	0	0
	合計(117科目)	-	116	29	0	7	1	3	1	0	51

太米	팺	14	77,	TK	屋	松-	+	壮

#### 【卒業要件】

次により、必修科目116単位、選択科目18単位以上を修得すること。

- 1.基礎科目20単位以上
- (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 2.職業専門科目90単位以上
- (1)必修科目88単位
- (2)選択科目2単位以上
- 3.展開科目20単位以上
- (1)必修科目12単位 (2)選択科目8単位以上
- 4.総合科目4単位
- (1)必修科目4単位

*1.0		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
展開	財務会計論	4後	2								1
科目	小計(11科目)	1	12	10	0	0	0	0	0	0	13
総	理学療法研究法演習I	4前	2			5	1	1			
合	理学療法研究法演習 Ⅱ	4後	1			5	1	1			
科目	応用理学療法学演習	4後	1			1	1	1	1		
п	小計(3科目)	ı	4	0	0	5	1	1	1	0	0
	合計(117科目)	-	116	29	0	7	1	3	1	0	51

卒業要件及び履修方法

次により、必修科目116単位、選択科目18単位以上を修得すること。

- 1.基礎科目20単位以上
- (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 2.職業専門科目90単位以上
- (1)必修科目88単位
- (2)選択科目2単位以上
- 3.展開科目20単位以上
- (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 4.総合科目4単位
- (1)必修科目4単位
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
  - 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
    - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
  - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

### 【令和4年度】

特になし

- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

Ī			,	設置時	の計画									変更	状況						備考
	必修	;	選:	択	自	由	計(人	۹)		必修	Ş		選択	7		自由			計		湘石
	93	科目	24	科目	0	科目	117	科目	9	3	科目	2· [	4 0	科目	[	0	科目	11	17	科目	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: $\Delta$  1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」	に対オス	「丰間謙利日	と廃止利日の計し	の割合
$(\mathbf{O})$	「設し好り」「凹りが支表が日数り」」	1CX190	一不用油料日	()	い計回

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	117	_	0 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				P	内				2	\$			備考																
(1)		区	分		専	用		共	用		キ用する( 学校等の)			計																		
校		校台	舎 敷 均	b		5, 397.	07 m <sup>2</sup>		1, 653. 00			14. 96	mi	8,	365. 03 m²																	
1X		運動	协場用地	ļ		0 .	00 m²		0.00	mî	0.00 m²			0.00 m²		地。 共用する他の学校等																
地		小	計	ł		5, 397.	07 m <sup>2</sup>		1, 653. 00	m <sup>*</sup>	1, 314. 96 m <sup>2</sup>			8, 365. 03 m²		ス用する他の子校寺 の専用は、看護棟の 敷地。																
等		そ	の他	ļ.		495. 43 m²		0.00 m²		mî	395. 04 r		mi 890. 47 mi		890. 47 m <sup>2</sup>	かる。 その他は、駐車場。																
Ф		合	i	-	5		50 m <sup>‡</sup>		1, 653. 00			10. 00	mi	9,	255. 50 m²	C 30   E 30 C 42   W																
	蛟 舍			専	用		共	用		ŧ用するſ 浡校等のº			計		専用は、講堂 (292.90㎡)・体育																	
(2) 校			答 舎		校舎				7, 157.			1, 319. 66			15. 90			292. 98 m <sup>2</sup>	館 (737.29㎡) を除く面積。 共用は、既存棟(1) の面積。 共用する他の学校等 の専用は、既存棟 (2) 及び看護棟の面													
																					(7, 15	57. 42m²)	)	(1, 31	19.66m²)	(	3, 815. 90	0m²)	(12, 29		98m²)	(2) 及び有護保の面積 (432.00㎡+ 3,383.90㎡)。
				講	義室		演習	室	実験実	習室	情報処	理学習	施設	語学学	智施設																	
(3) 教	Į	室	等		16	3室		3室		9室			1室		1室	大学全体																
						, <del>_</del>		0 <u>±</u>		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		職員	0人) (	補助職	員 0人)																	
(4) 専	任教	文員研究	空			新	設学部等	の名称				室		数																		
					リハビ	リテー	ション学	部 理学	療法学科			13	1		室																	
(5)	新設学部等 の名称				図 書 ち外国書〕	(	学術雑 うち外国		電子ジャ	ーナル	- 視聴覚	資料	機械・器	具	標本	図書について、学生及び利 用者の利便性を高めるた め、2,412冊増やし18,371冊 にした。うち外国書につい																
						₩		種	〔うち外	国書〕		点		点	点	て、外国学術誌WEB (Gale Academic OneFile) を利用 できる環境を整えたため、																
				19, 95	9 [1, 343]	, 343) 65 (			65 (10) 30 (1			100 1, 6			234	993冊減らし150冊にした。 学術雑誌について医中誌WEB																
割•			・ーション学部 (18, 371 [150]) <del>(15, 959 〔1, 143])</del>				(3) ) (10) )		( 0 [0] ) <del>( 20 [0] )</del>		( 88 ) ( 1,670	)	, ( 20 . ,	(医学系のデータベース) を利用できる環境を整えた ため、32冊減らし33冊にし た。うち外国書について外 国学術誌WEB (Gale																		
設 備													19				9 [1, 343]		65 (	[10]	30	[10]	100	0	1, 670		234	Academic OneFile) を利用 できる環境を整えたため、7				
		計			(18, 371 [150] <del>5, 959 [1, 143]</del>			[3] ) <del>[10] )</del>		[0] ) <del>0 (0] )</del>	( 88	3)	( 1, 670	)	( 234 )	冊減らし3冊にした。電子 ジャーナルについて医中誌 WEB及び外国学術誌WEBを利 用できる環境を整えたた め、0冊にした。(4)																
(0) 197	,	<b>=</b>	8¢		面	積			閲覧座	席数		収	納可	能冊	刑数																	
(6) 図	J	書	館			2	51.47 m	2			80				25, 000																	
(乙) 休	-	夸	命		面	積				体育館以	外のスポ	ーツ施	設の概要																			
(7)14	`	同	毘			7	37. 29 m	該	当	な	L																					
			Σ	ζ	分	開設。	年度	完成年度	区	分	開設前	i年度	開設年	隻!	完成年度	図書購入費について、開																
(8)		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	300	千円	300 ∓	-円 図書	購入費	51, 925 4 <del>7, 476</del>		1, 000 =		400 千円	設前年度は、学生及び利用者の利便性を高めるため、4,447千円増やし51,925千円とした。開設																
経費の 積り及 維持方の概	とび j法	, , ,	共 同	研 3	究費等	2, 000	千円 2	2,000 千	一円 設備	購入費	165, 7	52 千 円	_ =	f円	— 千円	年度は、600千円増やし 1,000千円とした。 (4)																
- 100			1 人当	第	1 年次	第 2	2年次	第	3 年次	第4年	F次	第 5	5年次	第	6年次																	
			寸金	1.	,750 千円	1,	450 千円	1,	,450 千円	1, 45	0 千円		— 千円		— 千円																	
学生納付金以外の維持				維持方法の	概要	手数料収	入・雑収	ス入・資産選	用収入等	<b>F</b>																						

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	ア	ール	医療	専『	見 職 ス	大学	学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度		
<u>リハビリテーション学部</u>	4	80	-	320	-	0. 98	0. 98	-	令和4	-		
<u>理学療法学科</u>	4	40	-	160	理学療法学 士 (専門 職)	1. 07	1. 07	-	令和4	茨城県土浦市湖北2-10-35		
<u>作業療法学科</u>	4	40	-	160	作業療法学 士(専門 職)	0. 90	0. 90	-	令和4	同上		
大学全体	1	80	1	320	1	-	1	-	-	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

### 5 教員組織の状況

## <リハビリテーション学部 理学療法学科>

### (1)一① 担当教員表

### 【認可時又は届出時】

# 【令和4年度】

【認口	可時又	は届出時】	_ [ 1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別
		担当授業科目名  柳 久子(61)	
専	教授 (学 長)	<令和4年4月> 医学博士 内科学 老年医学 予防医学※ 理学療法研究法演習 I 理学療法研究法演習 I	専
専	教学学 受部学 (長科	中(68) <令和4年4月>農学士 大学入門セミナー ※ 運動学 I 人間発達学 理学療法概論 I 理学療法基礎セミナー I 早期体験実習 I 動作分析学実習 発達障害系理学療法学実習 臨床実習 I 臨床実習 I 臨床実習 I 電子療法できまる。 理学療法できまる。 理学療法できまる。 理学療法研究法演習 I 理学療法研究法演習 I 理学療法研究法演習 I	事
専	教授	橋爪 和夫 (66) (66) (令和4年4月 ) 博士 (医学) スポーツ理論・実技 I スポーツ理論・実技 I 健康教育学 健康科学 運動生理学 理学療法研究法演習 I 理学療法研究法演習 I 理学療法研究法演習 I	専
専	教授	坂本 裕和 (73) <令和4年4月> 医学博士 人体構造学 I 人体構造学 E 人体構造学実習 神経解剖学	専

		<u>Σ</u>					
専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>					
の別	職名	保有学位等					
		担当授業科目名					
		柳 久子 (61)					
		<令和4年4月> 医学博士					
東	教授 (学	内科学					
,	長)	老年医学					
		予防医学※					
		理学療法研究法演習 I					
		理学療法研究法演習 Ⅱ					
		中、徹					
		(68) <令和4年4月> 農学士					
		大学入門セミナー ※					
		運動学Ⅱ					
		人間発達学					
		理学療法概論 Ⅱ					
_	教授 (学部	理学療法基礎セミナー I					
専	長兼学	早期体験実習 I					
	科長)	動作分析学実習					
		発達障害系理学療法学					
		発達障害系理学療法学実習					
		臨床実習Ⅱ					
		臨床実習Ⅳ					
		理学療法研究法演習 I					
		理学療法研究法演習 Ⅱ					
		橋爪和夫					
		(66) <令和4年4月>					
		博士(医学)					
		スポーツ理論・実技 I					
専	教授	スポーツ理論・実技Ⅱ					
4	大汉	健康教育学					
		健康科学					
		運動生理学					
		理学療法研究法演習I					
		理学療法研究法演習 Ⅱ					
		坂本 裕和 (73)					
		<令和4年4月>					
		医学博士					
専	教授	人体構造学 I					
		人体構造学Ⅱ					
		人体構造学実習					
		神経解剖学					

専任・		I
<del></del> 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>
נית כט	- 東石	保有学位等
		担当授業科目名
		縄井 清志
		(58) <令和4年4月>
		博士(医学)
		大学入門セミナー ※
		リハビリテーション概論
		理学療法概論I
		理学療法基礎セミナーⅡ
東	教授	早期体験実習 Ⅱ 運動学 Ⅰ
<del>- 17</del>	我按	連
		理学療法管理学
		日常生活活動学
		通所・訪問リハビリテーション実習
		臨床実習I
		臨床実習皿
		理学療法研究法演習 I
		理学療法研究法演習 Ⅱ
		新田 收
		(66) <令和4年4月>
		博士(工学)
		理学療法評価学実習 I
専	教授	運動療法学実習
7	4X1X	地域理学療法学実習
		臨床実習Ⅱ
		臨床実習皿
		臨床実習Ⅳ
		応用理学療法学演習
		呉 世昶 (43)
		<令和4年4月> 博士 (スポーツ医学)
専	教授	スポーツ理論・実技 I
<del>- 1</del>	郑汉	スポーツ理論・実技Ⅱ
		理学療法研究法演習Ⅰ
		理学療法研究法演習Ⅱ
		渡邉 大貴
		(35) <令和6年4月>
		博士(医学)
		神経障害系理学療法学I
		神経障害系理学療法学Ⅱ
東	准教	神経障害系理学療法学実習 I
<del>- 1</del>	授	神経障害系理学療法学実習 Ⅱ
		臨床実習Ⅲ
		臨床実習Ⅳ
		理学療法研究法演習I
		理学療法研究法演習Ⅱ
		応用理学療法学演習

専任・ 兼担・		氏 名
兼任		(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		縄井 清志
		(58) <令和4年4月>
		博士(医学)
		大学入門セミナー ※
		リハビリテーション概論
		理学療法概論 I
		理学療法基礎セミナーⅡ
	+/_1=	早期体験実習Ⅱ
専	教授	運動学 I
		動作分析学
		理学療法管理学 日常生活活動学
		ロ 帝王 / / / / / / / / / / / / / / / / / /
		臨床実習
		臨床実習皿
		理学療法研究法演習 [
		理学療法研究法演習Ⅱ
	教授	新田 收
		(66) <令和4年4月>
		博士(工学)
		理学療法評価学実習I
専		運動療法学実習
		地域理学療法学実習
		臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ
		臨床実習IV
		応用理学療法学演習 呉 世昶
	教授	(43)
		<令和4年4月>   博士 (スポーツ医学)
専		スポーツ理論・実技 I
		スポーツ理論・実技Ⅱ
		理学療法研究法演習Ⅰ
		理学療法研究法演習Ⅱ
		渡邉 大貴
		(35) <令和6年4月>
		博士(医学)
		神経障害系理学療法学I
		神経障害系理学療法学Ⅱ
専	准教	神経障害系理学療法学実習 I
	授	神経障害系理学療法学実習 II
		臨床実習Ⅲ 
		臨床実習Ⅳ
		理学療法研究法演習 I
		理学療法研究法演習Ⅱ
		応用理学療法学演習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	関口 春美 (66) <令和4年4月> 修士(人間科学) 理学療法評価学実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ
実専	助教	蔣 讚奎 (53) <令和6年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 応用理学療法学演習
兼任	講師	蔣 讚奎 (53) <令和5年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習
実(研)	講師	高田 祐 (48) <令和4年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法学実習 I 運動療法学実習 I 運動療法学実習 を年期障害系理学療法学 老年期障害系理学療法学実習 地域理学療法学 地域理学療法学実習 通所・訪問リハビリテーション実習 臨床実習 I 臨床実習 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		関口 春美 (66) <令和4年4月> 修士(人間科学)
実専	講師	理学療法評価学実習Ⅱ
		臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ
		臨床実習Ⅳ
		蔣讚奎
		(54) <令和6年4月> 修士(体育方法学)
実専	助教	運動学実習
~~	列权	臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ
		臨床実習Ⅳ
		応用理学療法学演習
兼任	講師	蔣_讚奎
兼任	講師	(54) <令和5年4月> 修士(体育方法学)
兼任	講師	<令和5年4月>
兼任	講師	<令和5年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐
兼任 ———	講師	<令和5年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習
兼任	講師	< 令和5年4月>         修士(体育方法学)         運動学実習         高田 祐 (48)         < 令和4年4月>
兼任	講師	<令和5年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) <令和4年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)
兼任	講師	< 令和5年4月> 修士 (体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) < 令和4年4月> 博士 (ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力
兼任	講師	< 令和5年4月> 修士 (体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) 〈令和4年4月> 博士 (ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学実習 I
実	講師	《令和5年4月》 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) 《令和4年4月》 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学実習 I 運動療法学実習
		《令和5年4月》 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐(48) 《令和4年4月》 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学実習 I 運動療法学実習 を年期障害系理学療法学
実		《令和5年4月》 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐(48) 《令和4年4月》 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学実習 I 理学療法評価学実習 I 運動療法学実習 老年期障害系理学療法学実習
実		《令和5年4月》 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐(48) 《令和4年4月》 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学実習 I 運動療法学実習 老年期障害系理学療法学 老年期障害系理学療法学
実		《令和5年4月》 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐(48) 《令和4年4月》 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学実習 I 運動療法学実習 老年期障害系理学療法学 老年期障害系理学療法学 地域理学療法学 地域理学療法学実習
実		《令和5年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) 〈令和4年4月> 博士 (ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学実習 I 理学療法評価学実習 I 理動療法学実習 老年期障害系理学療法学 実習 地域理学療法学 地域理学療法学 地域理学療法学実習 通所・訪問リハビリテーション実習
実		《令和5年4月〉 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) 〈令和4年4月〉 博士(ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学 I 理学療法評価学実習 I 運動療法学実習 老年期障害系理学療法学 老年期障害系理学療法学実習 地域理学療法学実習 地域理学療法学実習 通所・訪問リハビリテーション実習 臨床実習 I
実		《令和5年4月> 修士(体育方法学) 運動学実習 高田 祐 (48) 〈令和4年4月> 博士 (ヒューマン・ケア科学) 社会人基礎力 早期体験実習 I 理学療法評価学実習 I 理学療法評価学実習 I 理動療法学実習 老年期障害系理学療法学 実習 地域理学療法学 地域理学療法学 地域理学療法学実習 通所・訪問リハビリテーション実習

専任・ 兼担・ 兼任 の別 職名	
<ul><li>(就任(予定)年月&gt;保有学位等</li><li>担当授業科目名</li><li>港 直樹(45)</li><li>(令和4年4月&gt;</li></ul>	
で別 職名 (別任 (予定) 年月 (保有学位等 担当授業科目名 巻 直樹 (45) <令和4年4月 >	
担当授業科目名  巻 直樹 (45) <令和4年4月>	
巻 直樹 (45) <令和4年4月>	
(45) <令和4年4月>	
(45) <令和4年4月>	
(4工 (区子)	
YE \$4 ₩ Φ 30	
運動学実習	
早期体験実習Ⅱ	
埋学療法評価学Ⅱ	
理学療法評価学実習Ⅱ	
大型 大部障害系理学療法学 I ※	
「研〉」 内部障害系理学療法学Ⅱ ※	
内部障害系理学療法学裏習 ※	•
臨床実習 I	
臨床実習Ⅳ	
理学療法研究法演習 [	
理学療法研究法演習Ⅱ	
応用理学療法学演習	
徳田 克己	
(63) <令和5年4月>	
教育学博士	
兼担   教授	
バリアフリー論	
   子ども支援学 ※	
_	
長創一郎	
(32)	
く令和4年4月>	
兼任 講師 修士 (教育学)	
数育学 ※	
小山田 健太 (30)	
(30) <令和4年4月>	
兼任 講師 修士 (教育学)	
教育学 ※	
岩瀬 晴美	
(57)	
マナー接遇	
マノ一按四	
>± □ ±/ I=	
鎌田 彰仁 (74)	
<令和4年4月>	
兼任 講師 社会学修士	

<b></b>		
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		巻 直樹
		(45) <令和4年4月>
		博士(医学)
		運動学実習
		早期体験実習Ⅱ
		理学療法評価学Ⅱ
		理学療法評価学実習Ⅱ
実 (研)	講師	内部障害系理学療法学 I ※
(1917)		内部障害系理学療法学Ⅱ ※
		内部障害系理学療法学裏習 ※ 協床実習 I
		臨床美智 II
		臨床実習IV
		理学療法研究法演習 I
		理学療法研究法演習Ⅱ
		応用理学療法学演習
		徳田 克己
		(63)
		<令和5年4月> 教育学博士
兼担	教授	人間関係学
		バリアフリー論
		子ども支援学 ※
		長創一郎
		(32)
兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
N/II	DI-3 Puly	教育学 ※
		小山田 健太
		(30) <令和4年4月>
兼任	講師	修士(教育学)
		教育学 ※
		岩瀬 晴美 (57)
		<令和4年4月>
兼任	講師	準学士
		マナー接遇 
		鎌田 彰仁
		(74)
兼任	講師	<令和4年4月> 社会学修士
水江		社会学
		保健医療福祉論
	<u> </u>	l

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		4.++ A.Z
兼任	講師	小林 公子 (61) 〈令和4年4月〉 医学博士 生命倫理学
兼任	講師	小林 悟 (61) <令和4年4月> 理学博士 発生生物学
		和田 尚樹
兼任	講師	(36) <令和4年4月> 修士(情報学) データサイエンス
		ナーダザイエンス
兼任	講師	布川 博良 (45) <令和4年4月> 経済学士
		法情報リテラシー
兼任	講師	上野 修 (71) <令和4年4月> 学士 (歯学) 災害支援論 I
		災害支援論 II
兼任	講師	山名 慶 (50) <令和4年4月> 博士 (学術) 健康と食の科学
兼任	講師	奥井 マリ (56) <令和4年4月> BA Business Communication (丁抹) 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	王 尤妹 (30) <令和5年4月> 修士(生物資源工学) 中国語
兼任	講師	全 孝静 (35) <令和5年4月> 博士 (医学) 韓国語

専任・		氏 名
兼担・		(年齢)
兼任	11th A7	<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		1.11.07
		小林 公子 (61)
		(01) <令和4年4月>
兼任	講師	医学博士
		生命倫理学
		小林 悟
		(61)
兼任	講師	<令和4年4月> 理学博士
水江	라마	
		発生生物学 
		和田 尚樹 (36)
		(30) <令和4年4月>
兼任	講師	修士(情報学)
		データサイエンス
		, ,,,=,,
		布川 博良
		一
		<令和4年4月>
兼任	講師	経済学士
		法情報リテラシー
		上野修
		(71)
兼任	講師	<令和4年4月> 学士(歯学)
жц	마바마바	
		災害支援論 I
		災害支援論 Ⅱ
		山名 慶
		(50) <令和4年4月>
兼任	講師	博士(学術)
		健康と食の科学
		奥井 マリ
		(56)
兼任	ままって	<令和4年4月> BA Business Communication (丁抹)
水江	講師	
		英語コミュニケーションI
		英語コミュニケーションⅡ
		王 尤妹 (30)
		(30) <令和5年4月>
兼任	講師	修士(生物資源工学)
		中国語
		· →#H
		全 孝静
		(35)
* <i>I</i>	=# A <b>T</b>	<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		韓国語

専任・		<b>丘</b> 夕
兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任		<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		飯塚 眞喜人 (55)
		(93) <令和4年4月>
		博士(医学)
兼任	講師	
		生理学 I
		生理学Ⅱ
		生理学実習
		洪 建偉
		(59)
		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		平林 宏之
		(65)
並に	= 推 台工	<令和5年4月> 医学士
兼任	講師	
		整形外科学
		画像診断学 ※
		牧山 康志
		(62)
		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		神経内科学
		画像診断学 ※
		新田、千枝
		(41) <令和5年4月>
兼任	講師	博士(ヒューマン・ケア科学)
711412	417-1	精神医学
		村仲区子 
		竹田 一則
		(61)
共に	き生み工	<令和5年4月> 博士(医学)
兼任	講師	博士(医学) 
		小児科学
		アクセシビリティリーダー論
		伊佐地 隆
		(62)
		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		リハビリテーション医学
-		_ ,
		田中 健太
		(40) <令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
	200 A.L.	スポーツ障害学
		ヘハーブ降音子
		粕谷 善俊
		(62)
** '	=# 4~	<令和5年4月>
兼任	講師	医学博士
		薬理学
	l	1

専任・		п д
兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任		
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		飯塚 眞喜人
		(55)
		<令和4年4月> 博士(医学)
兼任	講師	
		生理学 I
		生理学Ⅱ
		生理学実習
		洪建偉
		(59)
		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		病理学
		7.7.1
		平林。宏之
		(65) <令和5年4月>
兼任	講師	(令和5年4月 <i>)</i> 医学士
N II	바마	· ·
		整形外科学
		画像診断学 ※
		牧山 康志
		(62)
** <i>'-</i>	=#+ +-	<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		神経内科学
		画像診断学 ※
		新田・千枝
		新田 千枚 (41)
		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(ヒューマン・ケア科学)
		精神医学
		ht m ==
		竹田 一則 (61)
		〈令和5年4月〉
兼任	講師	博士(医学)
		アクセシビリティリーダー論
		伊佐地 隆
		(62) <令和5年4月>
兼任	講師	マライルの年4月 / 博士 (医学)
>11 IT	HALP SAID	11- 1-11
		リハビリテーション医学
		田中健太
		(40)
* 1-	=# +	<令和5年4月>
兼任	講師	博士(医学)
		スポーツ障害学
		<b>∽</b> ★ ₩
		粕谷 善俊 (62)
		〈令和5年4月〉
兼任	講師	医学博士
		薬理学
	ĺ	İ

-	1	
専任・ 兼担・		氏 名
兼任		(年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月>
	124	保有学位等
		担当授業科目名
		立川 法正
		(55)
	-4./_	<令和5年4月>
兼任	講師	医学士
		救急救命学
		金内 則子
		(54)
並に	≕井尓エ	<令和6年4月> 修士(カウンセリング)
兼任	講師	
		リハビリテーション栄養学
		村澤 秀樹
		(49) <令和5年4月>
兼任	講師	く ラ和5年4月 <i>&gt;</i> 博士(学術)
N/ II	D1-3 Frit	
		公衆衛生学
		鈴木 育子
		(62) <令和6年4月>
兼任	講師	博士(ヒューマン・ケア科学)
		地域包括ケアシステム論
		11 1-107
		竹内 靖輝 (45)
		<令和6年4月>
		学士 (体育学)
兼任	講師	運動器障害系理学療法学 I
		運動器障害系理学療法学Ⅱ
		運動器障害系理学療法学実習 I
		運動器障害系理学療法学実習Ⅱ
		松岡 瑞雄 (46)
		(46) <令和6年4月>
兼任	講師	修士(保健学)
		物理療法学
		義肢装具学
		田村耕一郎
		(48)
±+ 1−	=#+ 1 —	<令和6年4月>
兼任	講師	体育学修士
		スポーツ障害系理学療法学
		所 圭吾
		(50)
兼任	講師	< 令和6年4月> 学士(教養)
水江	며유하	
		生活環境学
		集団支援論
		岡村 正洋
		(62) <令和4年4月>
		く ラ和4年4月 <i>&gt;</i> 教育学修士
兼任	講師	
		地域創生論
		運動障害・健康障害と心理
		運動障害・健康障害の自立活動論・指導法

_		
専任・		氏 名
兼担·		(年齢)
兼任 の別	10位 夕	<就任(予定)年月>
נית כט	職名	保有学位等
		立川 法正 (55)
		<令和5年4月>
兼任	講師	医学士
		救急救命学
		金内則子
		<u> </u>
		<令和6年4月>
兼任	講師	修士(カウンセリング)
		リハビリテーション栄養学
		村澤 秀樹
		(49)
サケ	=# 4~	<令和5年4月> 博士(学術)
兼任	講師	
		公衆衛生学
		鈴木 育子
		(62)
兼任	講師	<令和6年4月>   博士 (ヒューマン・ケア科学)
水江	마다마	
		地域包括ケアシステム論
		竹内 靖輝
	講師	(45) <令和6年4月>
		マライルのキャイスクープ 学士(体育学)
兼任		
N/IT	D1-3 P1-13	
		運動器障害系理学療法学Ⅱ
		運動器障害系理学療法学実習 I
		運動器障害系理学療法学実習Ⅱ
		松岡 瑞雄
		(46) <令和6年4月>
兼任	講師	修士(保健学)
		 物理療法学
		義肢装具学
		田村 耕一郎 (48)
		<令和6年4月>
兼任	講師	体育学修士
		スポーツ障害系理学療法学
		所 圭吾
		(50)
兼圧	≘曲 6宝	<令和6年4月>
兼任	講師	学士(教養)
		生活環境学
		集団支援論
		岡村 正洋
		(62) /今和4年4日~
		<令和4年4月> 教育学修士
兼任	講師	地域創生論
		運動障害・健康障害と心理
		運動障害・健康障害の自立活動論・指導法

専任・		Г
兼担・		氏 名
兼任		以 句 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		一条 千登世
		(58) <令和4年4月>
兼任	講師	専修学校卒
		世代間交流論
		高齢者健康づくり政策論
		田中喜代次
		(70)
* IT	=# AT	<令和5年4月>
兼任	講師	教育学博士
		健康マネジメント論
		サクセスフルエイジング論
		金澤 宏治 (42)
		(42) <令和5年4月>
兼任	講師	経済学士
		リーダーシップマネジメント論
		大森 正雄
		(66)
兼任	講師	<令和6年4月> 経済学士
N/II	H12 H-11	学校運営論 ※
		子仪连占端 太
		d-111 272
		中川 深 (64)
* IT	講師	<令和6年4月>
兼任		文学士
		学校運営論 ※
		·盖克·初干 (42)
* /r	=# AT	<令和7年4月>
兼任	講師	博士(ヒューマン・ケア科学) ヘルスケアマーケティング論
		ヘルスケアマーケティング語
		明光 体之
		門前 純子 (44)
	-#-,-	<令和7年4月>
兼任	講師	学士 (文学)
		就労支援サービス論
		庄司 一子
		(68) <令和7年4月>
兼任	講師	博士(心理学)
		教育相談
		西村 実穂
		(40) <令和7年4月>
兼任	講師	博士(学術)
		子ども支援学 ※
		幅崎(三木) 麻紀子
		(56)
兼任	講師	<令和4年4月> 修士(文化科学)
.,,,,,,,	H-2 H-1	ジェンダー論
		文化人類学
		/ \   U / \ \ \ \

専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	一条 千登世 (58) <令和4年4月> 専修学校卒 世代間交流論
		高齢者健康づくり政策論
兼任	講師	田中 喜代次 (70) <令和5年4月> 教育学博士 健康マネジメント論
		サクセスフルエイジング論
兼任	講師	金澤 宏治 (42) <令和5年4月> 経済学士 リーダーシップマネジメント論
兼任	講師	大森 正雄 (66) <令和6年4月> 経済学士
		学校運営論 ※
兼任	講師	中川 深 (64) <令和6年4月> 文学士 学校運営論 ※
兼任	講師	塩見 耕平 (42) <令和7年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) ヘルスケアマーケティング論
兼任	講師	門前 純子 (44) <令和7年4月> 学士 (文学) 就労支援サービス論
兼任	講師	庄司 一子 (68) <令和7年4月> 博士(心理学)
		教育相談
兼任	講師	西村 実穂 (40) <令和7年4月> 博士(学術) 子ども支援学 ※
兼任	講師	幅崎(三木) 麻紀子 (56) <令和4年4月> 修士(文化科学)
		ジェンダー論 文化人類学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小西 知世 (54) (54) (今和6年4月) 修士(法学) 医療関係法規論	兼任	講師	小西 知世 (54) <令和6年4月> 修士 (法学) 医療関係法規論
兼任	講師	瀬高 裕佳子 (42) <令和6年4月> 博士(保健学) 内部障害系理学療法学 I ※ 内部障害系理学療法学 I ※ 内部障害系理学療法学 I ※	兼任	講師	瀬高 裕佳子 (42) <令和6年4月> 博士(保健学) 内部障害系理学療法学 I ※ 内部障害系理学療法学 I ※ 内部障害系理学療法学 I ※
兼任	講師	河村 健太 (36) <令和6年4月> 博士 (保健医療科学) 内部障害系理学療法学 I ※ 内部障害系理学療法学実習 ※	兼任	講師	河村 健太 (36) <令和6年4月> 博士(保健医療科学) 内部障害系理学療法学 I ※ 内部障害系理学療法学実習 ※
兼任	講師	大木 俊郎 (62) <令和7年4月> 経済学士 経営組織論	兼任	講師	大木 俊郎 (62) <令和7年4月> 経済学士 経営組織論
兼任	講師	二井矢 旬子 (51) <令和7年4月> 学士 (外国研究) 経営のための法律	兼任	講師	二井矢 旬子 (51) <令和7年4月> 学士 (外国研究) 経営のための法律
兼任	講師	和田 政彦 (63) <令和7年4月> 学士(商学) 財務会計論	兼任	講師	和田 政彦 (63) <令和7年4月> 学士 (商学) 財務会計論
兼任	講師	原 圭祐 (35) <令和6年4月> 高度専門士 老年期障害系理学療法学実習	兼任	講師	原 圭祐 (35) <令和6年4月> 高度専門士 老年期障害系理学療法学実習
兼任	講師	動作分析学実習	兼任	講師	動作分析学実習

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太宇の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
    ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。

  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】	
【令和2年度】	
【令和3年度】	
【令和3年度】	
【令和3年度】 【令和4年度】 ・特になし	

- (注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  ・ **窓可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C 教員審査)を受けてください。 **A C 教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要な 研究業績を有する実 務家教員数
11	6	4	2
名	名	名	名

(注)・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -② 専仟教員等数【専門職大学等】

	1	ひ 置 時	の計画	ii ii					現在(幸	设告	寺)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准	<b></b> 養教授	講自	師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	1	3	1	12	0	7		0	3		0	10	0
(7)	(0)	(3)	(0)	(10)	(0)								
専任教員 (専)			延任教員数 実(研))	みなし専	任教員数	専任教員 (専)	数	専任教			任教員数 《(研))	みなし専	任教員数
8	:	2	2	(	)	7		1			2	(	)
(7)	(	1 )	(2)	( (	) )								
	現在(	報告時)の	完成年度時	の状況				現在(	報告時)	のラ	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	Ä	推教授	講館	师	助教	計 (D)	助手 (D')
7	1	3	1	12	0	7		1	3		1	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[	[0]	0 ]	]	[0]	[0]	[0]
専任教員 (専)			延任教員数 実(研))	みなし専	任教員数	専任教員 (専)	数	専任教 (実			任教員数 《(研))	みなし専	任教員数
8		2	2	(	)	8		2	2		2	(	)
[ 0 ]	]	0 ]	[ 0 ]	[ (	) ]	[ 0 ]		[ (	) ]	[	0]	[ (	) ]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
  - 「現在 (報告時) の状況」には、報告年度の5月1日の教員数 (実人数) を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 数員書金を受害済みであり、完成年度までに就任する数員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を配入</u>するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

  - 「現在 (報告時) の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: △1)

  - 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
     なお、みなし専任教員(実み)がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
     「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

### (2) - ③ 年齡構成

年齡構成											
報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数										
6	7										
	(B)) の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数										

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 6 現在(報告時)の状況(B) = 10

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	ισ)(I	担当予定科目	後	任礼	哺充状》	兄	京	<b>尤任辞</b> 词	艮(未	:就任) の理	由	
				該当なし														
				合計	(D)							後	<b>经任補充状況</b>	の集計	(E)	)		
	勍	任る	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a)	+ (b) + (c)	①のf	信	数 (a)		②の合計	十数 (b	)	③の合計	数(d	3)
					必	修	0	科目	必修	i	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	Ī	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					ī	†	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退 (未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
  - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	ю <b>я</b> ‡	坦当予定科目	後任	壬補:	充状》	兄		刮	任等	の理由		
			該当なし														
			合計	(F)							後	後任補充状況	の集計	(G)	)		
	辞	任し	<b>した教員数</b>	担当科目	数の合詞	(a) +	(b) + (c)	①の合	計数	(a)		②の合計	十数 (b)	)	③の合計	∤数 (c	)
				必	修	0	科目	必修	1	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	X	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ī	+	0	科目	計	i	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員</u>について</u>に記入してください。
  - · 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)				
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

### (3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) =

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

### (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
			該当なし												
			É	計						後任補充物	犬況のタ	制			
	辞	任し	<b>した教員数</b>	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	ł数 (a)		②の合計	l数(b)	)	③の合計	∤数 (c	)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	設生計こ心けのとらる践を職したこ水よ置か画ととる学いに職的展大、教と準ういまで、くに授のがう用と的か活よ向ことを大門をつすの設研も一め、行術識く究的めめなう照充を、さと等到深研目求た的いにら動り上とのが置る中授門るされ実力門 しうのる	遵守事項	入学式後に開催した学生オリエンテーションならびにお「大学入門セミナー」でおりいて、専門職大学及びで説明の設置趣旨等について説明し、学生の理解を促した。	履行中	年度開始において、オリリスを実施において、本サリーを実施専門のを実施専門のをできまります。 はい
認 可 時 (令和4年)	事アにれ業的さと発通ン用念学広本成が等るつ就でると路をに談図業ンよる療需れし達所事やが外報学す修にと安職養需。に図対等る等一、学士がも想援ハ所遇る向動学人すいも的をす拡たいとる職とが結学法対るのさ業リに安こたをに像知広、人拓人に開学も寧援対結学法対るのさ業リに安こたをに像知広、人拓人に開学も寧援との養及ると就るや一け性た極じけ卒・周期需、にめしに、就充との養及ると就るや一け性た極じけ卒・周期需、にめしに、就充とが成び社が職児予シるにめ的てる業能知的要本対るた周学職実た析さ作会示先童防ョ雇懸、な、養生力すかや学すこ進知生相を	遵守事項	児童所等う学を表示を表示を表示を表示を表示を表達を記述を表示を表達を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	履行中	キマ、防事る。しくま拡の像のである。しゃまで、大変を達り宣予をは、戦、城上旨で、戦の、上間の、大変にの、より、大変にの、は、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に

認可時	各じ時と位時科い業設かなたのケこに前力なえ当の的(い過授事がよがめ枠科化あせ教業もを料た間なの間目る時定ら単っ授ジと、期りっ、た前臨のる度業後確る懸、を目したる育時に行の定方方業講設加1て要得非をでと期次がと対していかり担に分きのれたし括、単、をに切とりながで時義けえ4い件す常過履な、がと対し、施試予らが係なな質るいた(1位学考改な。特及がで時義けえ4い件す常過履な、がと対し、施試予らが係なな質るいた(1位学考改な。に授ら1を演れ、限こ必に多なす。年期密加降実客 れ生、前時と影の講授)科加担たと指に授ら1を演れ、限こ必に多なす。年期密加降実客 れ生、前時と影の講授)科加担たと指応業か単30習て授のと要当くスる特次のと こ習観 てに各・間に響た義業り目さと授と導	遵守事項	4月の1日を大りの授業2.6 を表表である。1日を表表では、での受験を表示を担じ、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	履行中	現たて単はを修め数る客す実な確れ習時定現たて単はを修め数る客す実な確れ習時定でもいます。 では、過す、を。観る習負保でである。 では、後常なこおくたいで、は、は、は、は、では、というでは、というでは、でいるで、では、では、でいいとで、では、でいいとで、でいいと、でいいと、でいいと、でい
-----	--	------	---	-----	---

認 可 時 (令和4年)	「実力で確施善ば授に施当習でにてOS実映あ前実計実必にないないの実際である。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	遵守事項	臨床が現実の は、 に に に に に に に に に に に に に	履行中	臨床実習前OSCEについて、 学生が実習に参加する・技 を身に参加する・ を身に必要付けられる は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
認 可 時 (令和4年)	「IV てての「「でい見学成ン改がよる履い、い臨在日あな受療施等め誤う周修まの授る床宅当こ、ら士指踏とす正・選づ計病習習りと不れ作導まとる確徹をいっての「「でい見学がえもこな底行い画院時時」の明る業ガえもこな底行い画院時時が点、士ラ切学なに切と、いれでび間なが理養イに生いよな。	遵守事項	臨床実習に関する科目に関する科目に関する科目に関する科目に関する科目に関する科目に対してでは、現在では、現在でが、検討をでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	履行中	臨床実習II、III、IVのシラ床実習所施設等でのいまでののいまでのいまでのいまでは、でのいまでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で

認 可 時 (令和4年)	教お実ズ養プリ等リ業業ビ法め能研ど課て編育る育け習等成ロキにハ所所ス士ら力究、程持成水よ関議で踏る・ラづリ児放に作るに動宣、的れを努理議で踏る・ラづリ児放に作るに動宣、的れを努連論聴ま人ポムきテ童課お業役対をに将かる一め携や取え材リ・、一発後け療割応展応来つと層る協臨し、像シポ予シ達デる法やし開じに効と向こ協略とでいる。というでは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般を	遵守事項	本デリ基テ達サ法れ対能じ年る を、等に対しては、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等に対して、 を、等にが、 を、等を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	履行中	本デリ基テ達サ法れ対研る内学予をデリ発イ療らにたまり、というである。 から
認 可 時 (令和4年)	専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。(リハビリテーション学部理学療法学科)	遵守事項	3年後期に開講予定の「動作分析学実習」は未履修であるが、教員を確実に充足できるよう教授会等を通じて検討している。	履行中	「動作分析学実習」を教授できうるための教育育場を公募を できうるための教育のの教育の 績を有する教員を公募。ま 確保する予定である。。 教育在就任してい 上記科目を教授出来得る 教育研究業績を確保してい く。
認可時	完成年度前に、定年 程に定める 程に定める任 を を を を を を の を を の を を の を の を の の の の の の の の の の の の の	遵守事項	開学の目的や人材像を達成 するために、教員審査を耐 えうる教育研究業績・実務 業績を持つ、高齢の専任教 員の比率が高いため、等年齢 などを配慮し、教授会者を決 の検討を含め、後任者を 定していく予定である。	履行中	現在就任している若手の教員に、開学の目的や人材像を達成するために必要な教育研究業績・実務業績を積めるような環境を整備する。また、上記の業績がある若手教員を公募するように計画している。
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和4年)	該当なし				

設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年)			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和8年)			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

### 7 その他全般的事項

<リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
設置時の計画変更なし。	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況

FD·SD委員会を設置済み。(資料1「FD·SD委員会規程」参照)

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 令和4年6月に開催予定
- c 委員会の審議事項等
- (1) FD·SD活動の企画、立案に関する事項
- (2) FD·SD活動の実施、運営に関する事項
- (3) FD·SD活動の指導、助言に関する事項
- (4) FD·SD活動の調査、分析に関する事項
- (5) FD·SD活動の評価に関する事項
- (6) その他FD·SD活動の実施に関する事項
- ② 実施状況
  - a 実施内容

未実施

b 実施方法

未実施

c 開催状況(教員の参加状況含む) 未実施

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・令和4年4月開学のため、実績なし。8月及び2月に実施予定。
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - ・令和4年4月開学のため、実績なし。公開方法等については検討中。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

### ① 体制

- a 委員会の設置状況
  - ・設置済み。
  - ・構成員区分「地域」の行方市役所市民福祉部介護福祉課 課長変更のため、
  - 土子秀明氏から白鳥俊幸氏へ変更した。
  - ・構成員区分「地域」の一般社団法人茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会 会長変更のため、
  - 橋本幸雄氏から瀧田昌孝氏へ変更した。
  - 資料2「教育課程連携協議会構成員名簿」参照
- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
  - •年2回開催予定(9月中旬、3月中旬)
- c 委員会の審議事項等
  - ・産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設、その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
  - ・産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及び その実施状況の評価に関する事項
- d その他
  - 特になし。

### ② 審議状況

- a 審議した内容
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和4年4月開学のため、実績はない。今後は、新たに設置した「アール医療専門職大学自己点検・評価委員会」において、「アール医療専門職大学自己点検・評価規程」に基づき、自己点検・評価項目、評価基準等を策定し、令和5年7月までに自己点検・評価を実施して報告書としてまとめる予定である。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - 令和5年8月1日 公表予定
  - b 公表方法
    - ・自己点検・評価報告書として大学ホームページ、刊行物及び電子媒体等により学内外に公表予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・完成年度後に評価機関の評価を受けるべく、評価機関を含め学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (5) 情報公表に関する事項

0	〇 設置計画履行状況報告書(令和4年度)							
а	公表予定の有無	(	有		無	]		
≪ a b			調査結果公		_	・ 公表後2~3ヶ月以内 その他(	公表後3ヶ月以降 )	)
≪ a	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由	(						)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

### 【設置計画履行状況報告書‧補足説明資料(専門職大学等)】

#### (共通留意事項)

- 〇「認可(設置)時の計画」には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」で記載した計画を記入ください。
- ○認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。
- 〇「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。

認可(設置)時の計画

その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

### ① 入学者選抜

### 認可(設置)時の計画 履 行 状 況 ※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と 受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。 多様性に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 本学は、多様な人材確保のため、入学者選抜において、推薦型入試の 令和4年度生入学者選抜において、社会人推薦型選抜を5回計画したが出願者は0名 中に社会人推薦型選抜を設け、高等学校卒業見込みの者又は既卒者以であった。 外に、学び直しの機会を求める社会人にも門戸を開放している。 令和5年度生入学者選抜においても社会人推薦型選抜を実施する予定である。 【定員枠】 社会人推薦型選抜の定員枠は、指定校推薦型選抜、公募制推薦型選 抜、社会人推薦型選抜をあわせて入学定員の5割としている。 【出願資格】 社会人推薦型選抜の出願資格は、入学時において社会人経験を1年以 上有する者(パート・アルバイトの実務経験含む。)で、本学を専願する者 について、社会人としての経験と学び直しの意欲・適性があり、卒業後、 理学療法士・作業療法士として地域社会に貢献することを希望するもの としている。 【入試科目】 1、書類審査(調査書、志望理由書、自己推薦書) 2、小論文(60分) 3、個人面接(15分)

### 2 臨地実務実習

	記入ください。
・ 実習先の確保の状況 茨城県を中心にとした急性期から生活期までの様々な領域の病院、診療所、介護老人保健施設、通所リハビリテーション施設、訪問リハビリテーション施設等実習施設を確保している。実習先の確保状況は、臨地実務実習受け入れは、理学療法学科43施設、作業療法学科40施設から承諾を得ている。	
・ 実習水準の確保の方策 臨床実習指導者会議の開催、客観的臨床能力試験等の実施による学生の実習参加基準・要件の作成、実習指導者に対する学生の配置を適正に保つことで、実習指導者の目が行き届いた実習、実習施設で行う施設内研修会への講師派遣、研究支援活動を計画している。	討している。
・実習先との連携体制 実習前には、臨床実習指導者会議の開催し、実習に出向く学生と指導 者側が事前に面談し、実習内容を確認して円滑な受け入れと学生の精 神的緊張緩和に努める計画である。実習中は、各実習施設に最低1名の 専任教員を実習担当者として配置し、実習が円滑にできるよう支援する 体制を計画している。実習後は、当該学生の実習成績を指導者へ伝え、 その後の指導方向性について意見交換する予定である。	について計画を検討している。
・ 連携実務演習等 該当なし。	該当なし。

行 状 況

※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても

### アール医療専門職大学

### ③ その他

認 可(設置) 時の計画	履行状況
	※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても
・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置	記入ください。
理学療法学科及び作業療法学科において、同時に授業を行う学生数は、40人以下を原則としている。	同時に授業を行う学生数は、理学療法学科1年43人、作業療法学科1年36人である。 理学療法学科は40人を少し超える数で授業を行っているため、実施した際の支障は特 にない。
・入学前の実務経験を単位に換算した場合、その実施状況 (換算の対象とした実務経験の内容と、換算した単位数、適切な換算 が行われていることを説明すること。また換算の根拠となる規定等も 添付すること)	該当なし

### 学校コード F108310111971 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 専門職大学の設置

注1



注2

アール医療専門職大学

### 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

### 学校法人筑波学園 令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 法人事務局

電話番号 029-824-7611

(夜間) 090-9386-0642

e — mail suzuki@a-ru.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「○○大学大学院」

- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b\_menu/toukei/mext\_01087.html

# 目次

## リハビリテーション学部

<作	業療法学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 11
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 12
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 13
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 28
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 33

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人筑波学園

- (2) 大 学 名 アール医療専門職大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒300-0032 茨城県土浦市湖北二丁目10番35号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(トヤ トシコ) <b>戸谷 聰子</b> (昭和62年11月)	ı	
学長	(ヤナギ ヒサコ) <b>柳 久子</b> (令和4年4月)		
学 部 長	(ナカートオル ) <b>中 徹</b> (令和4年4月)	ı	
学科長等	(ナカムラ シゲミ) <b>中村 茂美</b> (令和4年4月)	_	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3) 令和4年度に報告する内容 → (4)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください</u>(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)を 確認してください)。
  - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1
リハビリテーション学部作業療法学科	保健衛生学関係(リハビ リテーション関係)	4	40	年次	160		
作業療法学士(専門職)		年	人	人	人		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均入学定員		備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	川 方
	一人一人	一人一人	一人一人	一人一人	40人 —人			
A 入学定員	( - )	( - )	( - )	( — )	( - )			
志願者数	— — — ( — )	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	— — — ( — ) ( — )	44 — ( — ) ( — )			
受験者数		( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	43 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	0. 90倍	—倍	
合格者数				— — — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	41 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]			
B 入学者数	— — — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	— — — ( — ) ( — ) [ — ]	36 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]			
入学定員超過率 B/A	_	_	_	_	0. 90			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出 してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0 年度	令和元	年度	令和 2	2年度	令和:	3年度	令和4	4年度		±	考
学 年	<b>#</b>	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	IJF	Ħ	75
		_	_	_	_	_	_	_	_	36	_			
	1 年次	[ — ]	[ - ]			[ - ]			[ - ]	[ - ]	[ - ]			
		( — )	(-)	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )					
	2 年次			_ [ _ ]	_ [ _ ]	[ - ]	_ [ _ ]	[ - ]	1	[ — ]				
	- 12	/		(-)	( — )	( — )	( — )		(-)					
						_	_	_	_	_	_			
	3 年次					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
				_		( — )	(-)	( — )	( — )	( — )	( — )			
	4 年次								1	1	_			
	4 4 %	/						( — )	( — )	. ,	( — )			
		_	_	_	_	-	_	_	_	3	6			
	計	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]			
		( -	_ )	(	- )	( -	_ )	( -	_ )	( -	_ )			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
対象年度			入学した年度	うち留学生数		(田子工が迂回は、)自じ/
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	<b>.</b>	平成30年度	人	人	
71 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	^	^	令和元年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	Д	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	36 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

### (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#### 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 0 #DIV/0! % 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a) % 令和4年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### 2 授業科目の概要

### <リハビリテーション学部 作業療法学科>

### (1) 一① 授業科目表

### 【認可時又は届出時】

#### 単位数 専任教員等の配置 任 科目 当 授業科目の名称 必 選 白 教 謙 助 助 年次 兼担 大学入門セミナ-1前 社会人基礎力 1 1 1前 1 教育学 1前 2 1 ジェンダー論 1前 1 マナー接遇 1前 1 1 社会学 1前 1 1 文化人類学 1後 1 1 生命倫理学 1後 1 発生生物学 1後 1 1 データサイエンス 1後 1 1 基 法情報リテラシー 1後 1 1 災害支援論 I 1後 1 1 礎 災害支援論Ⅱ 2前 1 1 人間関係論 2前 1 1 科 アクセシビリティリーダー論 2後 運動障害・健康障害と心理 3前 目 1 1 スポーツ理論・実技 I【\*】 1前 2 1 スポーツ理論・実技 Ⅱ【\*】 1後 1 2 健康と食の科学 1後 1 1 健康教育学 1後 1 1 健康科学 1後 1 1 英語コミュニケーション Ι 1前 1 英語コミュニケーション Ⅱ 1後 1 1 中国語 2前 1 1 韓国語 2前 小計(25科目) 12 13 0 3 2 0 0 0 16 人体構造学 I 1前 1 1 人体構造学Ⅱ 1後 1 1 生理学 I 1前 1 1 牛理学Ⅱ 1後 1 1 人体構造学実習【\*】 1通 2 1 生理学実習【\*】 1後 運動学 I 2前 1 運動学Ⅱ 2後 1 1 運動生理学 2前 1 1 人間発達学 2前 1 1 運動学実習【\*】 2前 1 1 1 職 神経解剖学 2前 1 1 業 病理学 2前 内科学 2前 1 整形外科学 2前 1 1 神経内科学 2前 1 1 精神医学 2前 1 科 小児科学 2前 1 1 リハビリテーション医学 2後 1 1 目 スポーツ障害学 2後 1 老年医学 2後 薬理学 2後 1 1 救急救命学 2後 1 1 画像診断学 2後 2 リハビリテーション栄養学 3前 1 1 予防医学 3後 1 1 リハビリテーション概論 1前 1 保健医療福祉論 1後 1 公衆衛生学 2後 1

地域包括ケアシステム論 3前

### 【令和4年度】

<b>11</b> -		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	第 日
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	大学入門セミナー	1前	1				1				
	社会人基礎力	1前		1		1	1				
	教育学	1前	1								2
	ジェンダー論	1前		1			1				
	マナー接遇	1前		1							1
	社会学	1前	1								
	文化人類学	1後		1			1				
	生命倫理学	1後	1								
	発生生物学	1後	1								
#	データサイエンス	1後	1								
基	法情報リテラシー	1後	_	1							
礎	災害支援論 I	1後	1								
	災害支援論Ⅱ	2前		1							
科	人間関係論 アクセシビリティリーダー論	2前	1			1					١.
_	運動障害・健康障害と心理	2後		1							
目	運動障害・健康障害と心理 スポーツ理論・実技 I【*】	3前		1							
	スポーツ理論・実技 I【*】	1前	1								
	健康と食の科学	1後 1後	1								
	健康を良め料子	1後	'	1							
	健康科学	1後		1							
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1	'							
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1							
	中国語	2前		1							
	韓国語	2前		1							
	小計(25科目)		12	13	0	3	2	0	0	0	1
	人体構造学 I	1前	1	10	-	_		_	-	-	
	人体構造学Ⅱ	1後	1								
	生理学 [	1前	1								
	生理学Ⅱ	1後	1								
	人体構造学実習【*】	1通	2								
	生理学実習【*】	1後	1								
	運動学I	2前	1			1					
	運動学Ⅱ	2後	1			1					
	運動生理学	2前	1								
	人間発達学	2前	1								
田本	運動学実習【*】	2前	1				1		1		
職	神経解剖学	2前	1								
業	病理学	2前	1								ĺ
	内科学	2前	1								
専	整形外科学	2前	1								
門	神経内科学	2前	1								
1 1	精神医学	2前	1								
科	小児科学	2前	1								
_	リハビリテーション医学	2後	1								
目	スポーツ障害学	2後	1								
	老年医学	2後	1								
	薬理学	2後	1								
	救急救命学	2後	1								
	画像診断学	2後	1								:
	リハビリテーション栄養学	3前	1								
	予防医学	3後	1			1					
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	保健医療福祉論	1後	1								
	公衆衛生学	2後	1								
	- / - i										

科目		配当		单位数					の配		兼任
科日 区分	授業科目の名称	年	必	選	皿	教	准教	講	助	助	兼
	<b>佐娄康法照</b>	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	作業療法概論 作業療法基礎セミナー I	1前 1前	1			1		1	1		1
	作業療法基礎セミナーⅡ	1削	1			1	1	'	1		
	早期体験実習 [【*】	1後	1			1			1		
	早期体験実習Ⅱ【*】	2後	1			1			1		
	医療関係法規論	3後	1			'	l '		l '		1
	作業療法管理学	4前	1			1					ľ
	作業療法評価学I	2前	1			1					
	作業療法評価学Ⅱ	2後	1			1					
	作業療法評価学実習 I【*】	2前	1					1	1		
	作業療法評価学実習 Ⅱ【*】	2後	1				1		1		
	活動分析学	3前	1			1					
	健康マネジメント論	2前		1							1
	日常生活活動学	2前	1			1					
	日常生活活動学実習【*】	2後	1			1			1		
	生活環境学	2前	1			1					
	生活環境学実習【*】	2後	1			1			1		
	身体障害作業治療学	3前	1				1				
職	身体障害作業治療学実習【*】	3後	1				1		1		
業	精神障害作業治療学	3前	1								1
木	精神障害作業治療学実習【*】	3後	1								1
専	発達障害作業治療学	3前	1								1
	発達障害作業治療学実習【*】	3後	1								1
門	老年期障害作業治療学	3前	1					1			
科	老年期障害作業治療学実習【*】	3後	1					1	1		
17	高次脳機能障害作業治療学	3前	1			1		1			1
目	高次脳機能障害作業治療学実習[*]	3後	1			2					1
	義肢装具学	3前	1								1
	義肢装具学実習【*】	3後	1								1
	運動障害・健康障害の自立活動論・指導法	3前		1							1
	リハビリテーション工学	3後	1								1
	職業リハビリテーション学	3前	1								1
	カウンセリング論	3後	1	١.							1
	サクセスフルエイジング論	3前		1							1
	地域作業療法学	3前	1				1				
	バリアフリー論 地域作業療法学実習 I【*】	3後	1			1					
	地域作業療法学実習 I【*】 地域作業療法学実習 I【*】	3前	1					1	1		
	地域作業療法字美智』【*】	3後	1	,				1	1		
	すども文振子 通所・訪問リハビリテーション実習[臨]	4前 1後	4	1		1		1			1
	臨床実習I【臨】	1伎 2後	1			1	1	'	1		
	臨床実習Ⅱ【臨】	2仮 3後	4			1	1		2		
	臨床実習皿【臨】	3版 4前	8			1			3		
	臨床実習Ⅳ【臨】	4後	8			1		1	3		
	小計(74科目)	- IX	88	4	0	14	8	5	13	0	27
	地域創生論	1前	2	_	-	<u>'</u> -	٦		10	,	1
	世代間交流論	1前	2								1
	リーダーシップマネジメント論	2後	2								1
	体力測定実習	3前	_	2			1		1		l '
展	高齢者健康づくり政策論	3後		2							1
開	学校運営論	3後		2							2
开]	経営組織論	4前	2	_							1
科	ヘルスケアマーケティング論	4前	_	2							1
	生活·福祉基盤論	4前		2							1
目	教育相談	4前		2							1
	経営のための法律	4後	2	_							1
	財務会計論	4後	2								1
		_		12	n	n	1	n	1	n	12
	小計(12科目)	_	12	12	0	0	1	0	1	0	

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	作業療法概論	1前	1								1
	作業療法基礎セミナーI	1前	1			1		1			
	作業療法基礎セミナーⅡ	1後	1			1	1		1		
	早期体験実習 [【*】	1後	1			1	1		1		
	早期体験実習Ⅱ【*】	2後	1			1	1		1		
	医療関係法規論	3後	1								1
	作業療法管理学	4前	1			1					
	作業療法評価学Ⅰ	2前	1			1					
	作業療法評価学Ⅱ	2後	1			1					
	作業療法評価学実習 I【*】 作業療法評価学実習 I【*】	2前	1					1	1		
		2後	1				1		1		
	活動分析学	3前	1			1					
	健康マネジメント論	2前	_	1							1
	日常生活活動学	2前	1			1			١.,		
	日常生活活動学実習【*】 生活環境学	2後	1			1			1		
		2前	1			1			١.,		
	生活環境学実習【*】	- 124	1			1	,		1		
職	身体障害作業治療学 身体障害作業治療学実習[*]	3前	1				1				
49%	精神障害作業治療学美習[*]	3後	1				1		1		4
業	精神障害作業治療学実習[*]	3前	1								1
_	精神障害作業治療学美者(*) 発達障害作業治療学	3後	1								1
専	完建障害1F未后療子 発達障害作業治療学実習【*】	3前	1								-
門	老年期障害作業治療学	3後	1					١.,			1
1 1	老牛期障害TF来加原子 老年期障害作業治療学実習【*】	3前 3後						1	١.		
科	高次脳機能障害作業治療学		1					1	1		
	高次脳機能障害作業治療学実習[*]	3前	1			1 2		'			1
目	義肢装具学	3後 3前	1								1
	我放衣兵子 義肢装具学実習【*】	3後	1								1
	我以衣兵士夫目【↑】 運動障害・健康障害の自立活動論・指導法	3前	'	1							1
	リハビリテーション工学	3後	1	'							1
	職業リハビリテーション学	3前	1								1
	カウンセリング論	3後	1								1
	サクセスフルエイジング論	3前	'	1							1
	地域作業療法学	3前	1	'			1				Ι'
	バリアフリー論	3後	1			1	l '				
	・ リア フ カ	3前	1			l '		1	1		
	地域作業療法学実習 I【*】	3後	1								
	子ども支援学	3夜 4前	l '	1		1			'		1
	通所・訪問リハビリテーション実習【臨】	4 <sub>刑</sub> 1後	1	'		l		1			l
	臨床実習 I【臨】	2後				1	1	'	1		
	臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			1	1		2		
	臨床実習皿【臨】	4前	8			1	1		3		
	臨床実習Ⅳ【臨】	4後	8			1		1	3		
	小計(74科目)		88	4	0	14	8	5	13	0	27
	地域創生論	1前	2				H		-		1
	世代間交流論	1前	2								1
	リーダーシップマネジメント論	2後	2								1
	体力測定実習	3前	-	2			1		1		l
展	高齢者健康づくり政策論	3後		2					'		1
開	学校運営論	3後		2							2
詽	経営組織論	4前	2	_							1
科	ヘルスケアマーケティング論	4前	-	2							1
	生活·福祉基盤論	4前		2							1
目	教育相談	4前		2							1
	経営のための法律	4後	2	_							1
	財務会計論	4後	2								1
	小計(12科目)	-	12	12	0	0	1	0	1	0	12
	. #I \ ' = IT II /	Щ.	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	. '2

74 F		配	Ě	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
総	作業療法研究法演習I	4前	2			3	3	1	1		
合	作業療法研究法演習 Ⅱ	4後	1			3	3	1	1		
科	応用作業療法学演習	4後	1			1	1		1		
目	小計(3科目)	1	4	0	0	3	3	1	2	0	0
	合計(114科目)	-	116	29	0	5	3	1	3	0	53

<b>太業亜低及</b>	7K 居修方法

#### 【卒業要件】

次により、必修科目116単位、選択科目18単位以上を修得すること。

- 1.基礎科目20単位以上 (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 2.職業専門科目90単位以上
- (1)必修科目88単位
- (2)選択科目2単位以上 3.展開科目20単位以上
- (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 4.総合科目4単位
- (1)必修科目4単位

71.5		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
総	作業療法研究法演習I	4前	2			3	3	1	1		
合	作業療法研究法演習 Ⅱ	4後	1			3	3	1	1		
科	応用作業療法学演習	4後	1			1	1		1		
目	小計(3科目)	1	4	0	0	3	3	1	2	0	0
	合計(114科目)	1	116	29	0	5	3	1	3	0	53

卒業要件及び履修方法

次により、必修科目116単位、選択科目18単位以上を修得すること。

- 1.基礎科目20単位以上
- (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 2.職業専門科目90単位以上
- (1)必修科目88単位
- (2)選択科目2単位以上
- 3.展開科目20単位以上
- (1)必修科目12単位
- (2)選択科目8単位以上
- 4.総合科目4単位
- (1)必修科目4単位
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている</u>箇所は**太字の赤字**としてください。
  - 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
    - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
  - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

#### 【今和《年度】

<b>トア州4 千及』</b> 特になし			
特になし			

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

Ī	設置時の計画							変更状況									備考					
	必化	修	選	択	自	<b>±</b>	計(人	۹)		必修	<u> </u>		選択	1		自由			計		1用 5	
	91	科目	23	科目	0	科目	114	科目	9	1 0	科目	2	3	科目	[	0	科目	1	14	科目		

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: $\Delta$  1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

$\langle                   $	「設置時の計画の授業科目数の計」	ノー ナナーナ フ		
(n)	一袋声度(八针叫(八)) 美私口数(八)针		一大贸通私口(路厂私口//)計	
( ( ) /				1 0/011 1

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	04
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	114	_	U	%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講記しを廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		キ用する他の 学校等の専用			<del>ā†</del>	
+*		校舎	き 敷 坩	b		5, 397. 07 m²		1, 653. 00 m		1, 314.			8, 365. 03 m²	
校		運動	場用地	ļ.		0 .00 m²		0.00 m		0.	00 m <sup>2</sup>		0.00 m²	地の世界は
地		小	計	-		5, 397. 07 m <sup>2</sup>		1, 653. 00 m		1, 314.	96 m <sup>2</sup>		8, 365. 03 m²	共用する他の学校等 の専用は、看護棟の 敷地。
este:		そ	の他	ļ.		495. 43 m²		0.00 m	395. 04 m²				890. 47 m <sup>2</sup>	その他は、駐車場。
等	合 計 5,892.50		5, 892. 50 m <sup>2</sup>		1, 653. 00 m		1, 710.			9, 255. 50 m <sup>2</sup>				
					専	用	共	共 用		共用する他の 学校等の専用			計	専用は、講堂 (292.90㎡) ・体育
(2) 校	(2) 校 舎			(7.15	7, 157. 42 m <sup>2</sup> 57. 42m <sup>2</sup> )		1, 319. 66 m <sup>‡</sup> (1, 319. 66m <sup>‡</sup> )		3, 815. 3, 815. 90㎡	315. 90 m <sup>2</sup>		12, 292. 98 ㎡ 292. 98㎡)	館 (737.29㎡) を除 く面積。 共用は、既存棟 (1) の面積。 共用する他の学校等 の専用は、既存棟 (2) 及び看護棟の面	
					(7, 10	7. 121117	(1,0	0. 001117		0, 010. 00111		(12,	202. 001117	積(432.00㎡+ 3,383.90㎡)。
				講	義 室	演	留室	実験実習	室	情報処理	学習施	設 語	学学習施設	
(3) 教	. !	室	等		16	3室	3室		9室			室	1室	大学全体
										(補助職員	人0 j	.) (補	助職員 0人)	
(4) 専	任教	員研究	室			新設学部	等の名称			室		数		
						ビリテーション学部 作業療法学科 14							室	
(5)	新	i設学部 の名種			図 書		雑誌             	電子ジャー	ナル	· 視聴覚資料	斗 機	械・器具	標本	図書について、学生及び利用者の利便性を高めるため、2、412冊増やし18、371冊にした。うち外国書について、外国学術誌WEB(Gale
						m ·	種	〔うち外国			点	点		Academic OneFile) を利用 できる環境を整えたため、
				19, 95	9 [1, 343]	6	5 (10)	30 (	[10]	10) 100 1,670 2			234	993冊減らし150冊にした。 学術雑誌について医中誌WEB (医学系のデータベース)
図書・設	リハビ	ヽビリテーション学部 (18, 371 〔150〕) <del>(15, 959〔1, 143〕)</del>			33 (3) ) <del>5 (10) )</del>	( 0 <del>−(−20</del>	(0) ) <del>(0) )</del>	( 88 )	(	1,670)	( 234 )	を利用できる環境を整えたため、32冊減らし33冊にした。うち外国書について外国学術誌WEB(Gale		
備				19, 95	9 [1, 343]	6	5 (10)			100		1, 670	234	Academic OneFile) を利用 できる環境を整えたため、7 冊減らし3冊にした。電子
		計			[18, 371 [150] i, 959 [1, 143]		33 (3) ) 5 (10) )	( 0 <del>-(-20</del>	[0] ) <del>(0] )</del>	( 88 )	(	1,670 )	( 234 )	ジャーナルについて医中誌 WEB及び外国学術誌WEBを利 用できる環境を整えたた め、0冊にした。(4)
(6) 図		書	館		面	積		閲覧座	席数		収	納可能	册 数	
(∪/⊠			AD			251. 47	m²			80			25, 000	
(7) 体	:	育	館		面	積		体	育館以外	外のスポーツ	が施設	の概要		
	-	-	-		Ţ	737. 29	m <sup>®</sup> 該	当	な	L	1		1	
			2	ξ	分	開設年度	完成年度	区	分	開設前年原	E .	開設年度	完成年度	図書購入費について、開 設前年度は、学生及び利
(8)		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	300 千円	300 ∓	円 図書購	入費	51, 925 千 4 <del>7, 478 千</del>		, 000 千円 <del>400 千円</del>		田本の利店はナウはフォ
経費の 積り及 維持方 の概	見 び i法		共同研究費等2,000千円2,000千円設備購		入費	165, 752	752 千 円 — 千P		— 千円	1 000 T III L L +				
- 100		学生 1		第	1 年次	第2年次	第	3年次	第4年	F次	第 5 年	次	第6年次	
		納付		1.	750 千円	1,450 न	-円 1	450 千円	1, 45	0 千円	_	- 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要 手数料収入・雑収入・資産運用収入等													

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	ア	ール	医療	専『	見 職 ス	大学	学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度		
<u>リハビリテーション学部</u>	4	80	-	320	-	0. 98	0. 98	-	令和4	-		
<u>理学療法学科</u>	4	40	-	160	理学療法学 士 (専門 職)	1. 07	1. 07	-	令和4	茨城県土浦市湖北2-10-35		
<u>作業療法学科</u>	4	40	-	160	作業療法学 士(専門 職)	0. 90	0. 90	-	令和4	同上		
大学全体	1	80	1	320	1	-	1	-	-	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <リハビリテーション学部 作業療法学科>

### (1) 一① 担当教員表

### 【認可時又は届出時】

### 【令和4年度】

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名		専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	原 修一 (57) <令和4年4月> 博士 (医学)		専	教授	原 修一 (57) <令和4年4月> 博士 (医学) 社会人基礎力
		社会人基礎力 高次脳機能障害作業治療学実習				高次脳機能障害作業治療学実習
		徳田 克己 (63) <令和5年4月> 教育学博士				徳田 克己 (63) <令和5年4月> 教育学博士
専	教授	人間関係論 バリアフリー論 子ども支援学 ※ 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I		教授	人間関係論 バリアフリー論 子ども支援学 ※ 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I	
•				•	-	
専	准教 授	幅崎(三木) 麻紀子 (57) <令和5年4月> 修士(文化科学) ジェンダー論 文化人類学 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I		専	准教 授	幅崎(三木) 麻紀子 (57) 〈令和5年4月〉 修士(文化科学) ジェンダー論 文化人類学 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I
兼任	講師	幅崎(三木) 麻紀子 (56) <令和4年4月> 修士(文化科学) ジェンダー論 文化人類学		兼任	講師	幅崎(三木) 麻紀子 (56) 〈令和4年4月〉 修士(文化科学) ジェンダー論 文化人類学

専任・			専任・		I
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		中村 茂美 (60) <令和4年4月> 修士(心身健康科学)			中村 茂美 (60) <令和4年4月> 修士(心身健康科学)
		リハビリテーション概論 作業療法基礎セミナー I			リハビリテーション概論 作業療法基礎セミナー I
実専	教授 (学科	作業療法管理学 作業療法評価学 I	実専	教授 (学科	作業療法管理学 作業療法評価学 I
入寸	長)	活動分析学	X+7	長)	活動分析学
		日常生活活動学			日常生活活動学
		日常生活活動学実習 生活環境学			日常生活活動学実習 生活環境学
		生活環境学実習			生活環境学実習
		臨床実習Ⅱ			臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅳ			臨床実習IV
実専	教授	福本 (47) <令和4年4月> 修士(作業療法学) 大学 八門セミナー ※ 運動学 I 運動学 I でのでは、「では、「では、「では、」では、「では、では、では、では、できない。」 「では、では、では、できない。では、できない。できない。できない。できない。できない。できない。できない。できない。			
実専	准教 授	野村 聖子 (45) <令和4年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) 大学入門セミナー ※ 社会人基礎力 早期体験実習 I 早期体験実習 I 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I 応用作業療法学演習	実専	准教 授	野村 聖子 (45) <令和4年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) 大学入門セミナー ※ 社会人基礎力 早期体験実習 I 早期体験実習 I 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 I 応用作業療法学演習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名
		石上 聖子 (39) <令和4年4月> 高度専門士				石上 聖子 (39) <令和4年 <mark>9</mark> 月> 高度専門士
実専		作業療法基礎セミナー I				
	助教	作業療法基礎セミナーⅡ		実専	助教	作業療法基礎セミナーⅡ
		作業療法評価学実習 I				作業療法評価学実習 I
		日常生活活動学実習				日常生活活動学実習
		臨床実習 I				臨床実習 I
		臨床実習Ⅲ				臨床実習皿
		臨床実習Ⅳ				臨床実習Ⅳ
		六倉 悠貴 (38) <令和4年4月> 高度専門士	) F4月>			六倉 悠貴 (38) <令和4年4月> 高度専門士
	助教	早期体験実習 I		実専		早期体験実習 I
		早期体験実習 Ⅱ				早期体験実習Ⅱ
実専		老年期障害作業治療学実習			助教	老年期障害作業治療学実習
		地域作業療法学実習 I				地域作業療法学実習 I
		臨床実習Ⅱ				臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ				臨床実習Ⅲ
		臨床実習Ⅳ				臨床実習Ⅳ
		応用作業療法学演習				応用作業療法学演習
		久保田 智洋 (39) <令和4年4月> 博士(保健医療科学)				久保田 智洋 (39) <令和4年4月> 博士(保健医療科学)
		運動学実習				運動学実習
		作業療法基礎セミナーⅡ				作業療法基礎セミナーⅡ
		作業療法評価学実習 Ⅱ				作業療法評価学実習 Ⅱ
<b>+</b>	准教	身体障害作業治療学		<b>#</b>	准教	身体障害作業治療学
実 (研)	授	身体障害作業治療学実習		実 (研)	授	身体障害作業治療学実習
		地域作業療法学				地域作業療法学
		臨床実習 I				臨床実習 I
		臨床実習Ⅱ				臨床実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ				臨床実習Ⅲ
		体力測定実習				体力測定実習
		作業療法研究法演習I				作業療法研究法演習 I
		作業療法研究法演習Ⅱ				作業療法研究法演習 Ⅱ

専任・				専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名
		坂本 晴美 (39) <令和4年4月> 博士(医学)				坂本 晴美 (39) <令和4年4月> 博士(医学)
		作業療法基礎セミナー I 作業療法評価学実習 I 老年期障害作業治療学				作業療法基礎セミナー I 作業療法評価学実習 I 老年期障害作業治療学
実 (研)	講師	老年期障害作業治療学実習 高次脳機能障害作業治療学 ※		実 (研)	講師	老年期障害作業治療学実習 高次脳機能障害作業治療学 ※
		地域作業療法学実習 I 地域作業療法学実習 II 通所・訪問リハビリテーション実習				地域作業療法学実習 I 地域作業療法学実習 II 通所・訪問リハビリテーション実習
		臨床実習IV				臨床実習IV
		作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 Ⅱ				作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 II
		岩本 記一 (39) (令和5年4月> 修士(リハビリテーション学) 運動学実習				岩本 記一 (39) <令和5年4月> 修士(リハビリテーション学) 運動学実習
	助教	作業療法評価学実習 II 生活環境学実習		実 (研)	助教	作業療法評価学実習 I 生活環境学実習
実 (研)		身体障害作業治療学実習 地域作業療法学実習Ⅱ				身体障害作業治療学実習 地域作業療法学実習Ⅱ
		臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 体力測定実習				臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 体力測定実習
		作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 Ⅱ				作業療法研究法演習 I 作業療法研究法演習 II
兼担	教授	橋爪 和夫 (66) <令和4年4月> 博士 (医学)		兼担	教授	橋爪 和夫 (66) <令和4年4月> 博士(医学)
		スポーツ理論・実技 I スポーツ理論・実技 I 健康教育学				スポーツ理論・実技 I スポーツ理論・実技 I 健康教育学
		呉 世昶 (43) <令和4年4月> 博士(スポーツ医学)				呉 世昶 (43) <令和4年4月> 博士(スポーツ医学)
兼担	教授	スポーツ理論・実技 I スポーツ理論・実技 I 健康教育学		兼担	<b>∲担 教授</b>	スポーツ理論・実技 I スポーツ理論・実技 I 健康教育学
		運動生理学				運動生理学

### (本 )	± 1-		I	+ /-		ı
坂本 裕和	兼担 • 兼任	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
(73)			担当技术符合有			担当技术符合有
(88)	兼担	教授	(73) <令和4年4月> 医学博士 人体構造学 I 人体構造学 I 人体構造学≌	兼担	教授	(73) <令和4年4月> 医学博士 人体構造学 I 人体構造学 I 人体構造学実習
************************************	兼担	教授	(68) <令和5年4月> 農学士	兼担	教授	(68) <令和5年4月> 農学士
注	兼担	(学	(61) <令和5年4月> 医学博士 内科学 老年医学	兼担	(学	(61) <令和5年4月> 医学博士 内科学 老年医学
兼任     講師     (32) <令和4年4月> 修士(教育学)     兼任     講師     (32) <令和4年4月> 修士(教育学)       教育学     ※     教育学     ※       水山田 健太 (30) <令和4年4月> 修士(教育学)     (30) <令和4年4月> 修士(教育学)     《令和4年4月> 修士(教育学)       教育学     ※     基瀬 晴美 (57) <令和4年4月> 準学士     岩瀬 晴美 (57) <令和4年4月> 準学士     書校士 (74) <令和4年4月> 建学士     マナー接遇       兼任     講師     鎌田 彰仁 (74) <令和4年4月> 社会学修士     (74) <令和4年4月> 社会学修士     兼任 講師     鎌田 彰仁 (74) <令和4年4月> 社会学修士	兼担		(35) <令和6年4月> 博士 (医学)	兼担		(35) <令和6年4月> 博士(医学)
兼任     講師     (30) <令和4年4月> 修士(教育学)     兼任     講師     (30) <令和4年4月> 修士(教育学)       教育学     ※     お育学     ※       基旗     情美 (57) <令和4年4月> 準学士     (57) <令和4年4月> 準学士     マナー接遇       兼任     講師     鎌田     彰仁 (74) <令和4年4月> 社会学修士     鎌田     彰仁 (74) <令和4年4月> 社会学修士	兼任	講師	(32) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	(32) <令和4年4月> 修士(教育学)
兼任     講師     (57) <令和4年4月> 準学士     兼任     講師     (57) <令和4年4月> 準学士       マナー接遇     様田 彰仁 (74) <令和4年4月> 社会学修士     鎌田 彰仁 (74) <令和4年4月> 社会学修士	兼任	講師	(30) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	(30) <令和4年4月> 修士(教育学)
兼任     講師     (74) <t< th=""><th>兼任</th><th>講師</th><th>(57) &lt;令和4年4月&gt; 準学士</th><th>兼任</th><th>講師</th><th>(57) &lt;令和4年4月&gt; 準学士</th></t<>	兼任	講師	(57) <令和4年4月> 準学士	兼任	講師	(57) <令和4年4月> 準学士
社会学       社会学         保健医療福祉論       保健医療福祉論	兼任	講師	(74) <令和4年4月> 社会学修士 社会学	兼任	講師	(74) <令和4年4月> 社会学修士 社会学

± /-				1	
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	小林 公子 (61) 〈令和4年4月〉 医学博士 生命倫理学	兼任	講師	小林 公子 (61) <令和4年4月> 医学博士 生命倫理学
兼任	講師	小林 悟 (61) <令和4年4月> 理学博士 発生生物学	兼任	講師	小林 悟 (61) <令和4年4月> 理学博士 発生生物学
兼任	講師	和田 尚樹 (36) <令和4年4月> 修士(情報学) データサイエンス	兼任	講師	和田 尚樹 (36) <令和4年4月> 修士(情報学) データサイエンス
兼任	講師	布川 博良 (45) <令和4年4月> 経済学士 法情報リテラシー	兼任	講師	布川 博良 (45) <令和4年4月> 経済学士 法情報リテラシー
兼任	講師	上野 修 (71) <令和4年4月> 学士 (歯学) 災害支援論 I 災害支援論 I	兼任	講師	上野 修 (71) <令和4年4月> 学士 (歯学) 災害支援論 I 災害支援論 II
兼任	講師	山名 慶 (50) <令和4年4月> 博士 (学術) 健康と食の科学	兼任	講師	山名 慶 (50) <令和4年4月> 博士 (学術) 健康と食の科学
兼任	講師	奥井 マリ (56) <令和4年4月> BA Business Communication (T抹) 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	奥井 マリ (56) <令和4年4月> BA Business Communication (丁抹) 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	王 尤妹 (30) 〈令和5年4月〉 修士(生物資源工学) 中国語	兼任	講師	王 尤妹 (30) <令和5年4月> 修士(生物資源工学) 中国語
兼任	講師	全 孝静 (35) <令和5年4月> 博士(医学) 韓国語	兼任	講師	全 孝静 (35) <令和5年4月> 博士(医学) 韓国語

± 11		T T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		飯塚 眞喜人 (55) <令和4年4月> 博士(医学)
兼任	講師	生理学 I 生理学 I 生理学実習
兼任	講師	洪 建偉 (59) <令和5年4月> 博士(医学) 病理学
兼任	講師	平林 宏之 (65) <令和5年4月> 医学士
		整形外科学 画像診断学 ※
兼任	講師	牧山 康志 (62) <令和5年4月> 博士 (医学) 神経内科学
		画像診断学 ※
兼任	講師	新田 千枝 (41) (令和5年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) 精神医学
		ht m Bil
兼任	講師	竹田 一則 (61) <令和5年4月> 博士(医学) 小児科学
		アクセシビリティリーダー論
兼任	講師	伊佐地 隆 (62) <令和5年4月> 博士 (医学) リハビリテーション医学
兼任	講師	田中 健太 (40) <令和5年4月> 博士 (医学) スポーツ障害学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飯塚 眞喜人 (55) <令和4年4月> 博士(医学) 生理学 I 生理学 I 生理学実習
兼任	講師	洪 建偉 (59) 〈令和5年4月〉 博士 (医学) 病理学
兼任	講師	平林 宏之 (65) <令和5年4月> 医学士 整形外科学 画像診断学 ※
兼任	講師	牧山 康志 (62) <令和5年4月> 博士(医学) 神経内科学 画像診断学 ※
兼任	講師	新田 千枝 (41) (令和5年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) 精神医学
兼任	講師	竹田 一則 (61) 〈令和5年4月〉 博士(医学) 小児科学 アクセシビリティリーダー論
兼任	講師	伊佐地 隆 (62) <令和5年4月> 博士 (医学) リハビリテーション医学
兼任	講師	田中 健太 (40) <令和5年4月> 博士 (医学) スポーツ障害学
		1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	粕谷 善俊 (62) <令和5年4月> 医学博士 薬理学	兼任	講師	粕谷 善俊 (62) <令和5年4月> 医学博士 薬理学
兼任	講師	立川 法正 (55) <令和5年4月> 医学士 救急救命学	兼任	講師	立川 法正 (55) <令和5年4月> 医学士 救急救命学
兼任	講師	金内 則子 (54) <令和6年4月> 修士 (カウンセリング) リハビリテーション栄養学	兼任	講師	金内 則子 (54) <令和6年4月> 修士(カウンセリング) リハビリテーション栄養学
兼任	講師	村澤 秀樹 (49) 〈令和5年4月〉 博士 (学術) 公衆衛生学	兼任	講師	村澤 秀樹 (49) <令和5年4月> 博士 (学術) 公衆衛生学
兼任	講師	鈴木 育子 (62) <令和6年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) 地域包括ケアシステム論	兼任	講師	鈴木 育子 (62) <令和6年4月> 博士 (ヒューマン・ケア科学) 地域包括ケアシステム論
兼任	講師	村木 敏明 (72) <令和4年4月> 博士 (医学) 作業療法概論	兼任	講師	村木 敏明 (72) <令和4年4月> 博士 (医学) 作業療法概論
兼任	講師	島田 康司 (42) <令和6年4月> 修士(作業療法学) 精神障害作業治療学 精神障害作業治療学実習	兼任	講師	島田 康司 (42) <令和6年4月> 修士(作業療法学) 精神障害作業治療学 精神障害作業治療学実習
兼任	講師	田中 亮 (41) 〈令和6年4月〉 修士 (作業療法学) 発達障害作業治療学 発達障害作業治療学実習	兼任	講師	田中 亮 (41) <令和6年4月> 修士(作業療法学) 発達障害作業治療学 発達障害作業治療学実習
兼任	講師	久保 匡史 (46) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション学) 義肢装具学 義肢装具学実習	兼任	講師	久保 匡史 (46) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション学) 義肢装具学 義肢装具学実習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	門前 純子 (43) <令和6年4月> 学士 (文学) 職業リハビリテーション学
兼任	講師	沢宮 容子 (66) <令和6年4月> 博士(心理学) カウンセリング論
兼任	講師	岡村 正洋 (62) <令和4年4月> 教育学修士 地域創生論 運動障害・健康障害の自立活動論・指導法
兼任	講師	一条 千登世 (58) <令和4年4月> 専修学校卒 世代間交流論 高齢者健康づくり政策論
兼任	講師	田中 喜代次 (70) <令和5年4月> 教育学博士 健康マネジメント論 サクセスフルエイジング論
兼任	講師	金澤 宏治 (42) <令和5年4月> 経済学士 リーダーシップマネジメント論
兼任	講師	大森 正雄 (66) <令和6年4月> 経済学士 学校運営論 ※
兼任	講師	中川 深 (64) <令和6年4月> 文学士 学校運営論 ※

専任・		T 72
兼担·		ト
兼任		<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		近马及朱行石石
		門前一純子
		(43) <令和6年4月>
兼任	講師	学士(文学)
7.1.4.1.		<u></u> 職業リハビリテーション学
		職業リバビリリーション子
		沢宮 容子
		(66) <令和6年4月>
兼任	講師	博士(心理学)
		 カウンセリング論
		┃
		(02) <令和4年4月>
	講師	教育学修士
兼任		地域創生論
		運動障害・健康障害と心理
		運動障害・健康障害の自立活動論・指導法
	講師	一条 千登世 (58)
		(36) <令和4年4月>
兼任		専修学校卒
		世代間交流論
		高齢者健康づくり政策論 高齢者健康づくり政策論
		田中喜代次
		(70)
	講師	<令和5年4月>
兼任		教育学博士
		健康マネジメント論
		サクセスフルエイジング論
		金澤 宏治
1		(42)
兼任	講師	<令和5年4月> 経済学士
水江	바마	
		リーダーシップマネジメント論
		大森 正雄
兼任		(66) <令和6年4月>
	講師	経済学士
		க்ய ஊ
	講師	中川 深 (64)
		<令和6年4月>
兼任		文学士
		学校運営論 ※
_		-

+ 1-		ı	+ 1-	_	
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	塩見 耕平 (42) <令和7年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) ヘルスケアマーケティング論	兼任	講師	塩見 耕平 (42) <令和7年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学) ヘルスケアマーケティング論
兼任	講師	右田 玲子 (76) <令和7年4月> 博士 (医学) 生活・福祉基盤論	兼任	講師	右田 玲子 (76) <令和7年4月> 博士 (医学) 生活・福祉基盤論
兼任	講師	庄司 一子 (68) <令和7年4月> 博士(心理学) 教育相談	兼任	講師	庄司 一子 (68) <令和7年4月> 博士(心理学) 教育相談
兼任	講師	西村 実穂 (40) <令和7年4月> 博士 (学術) 子ども支援学 ※	(40) <令和7年4月> 博士(学術) 兼任 講師		西村 実穂 (40) <令和7年4月> 博士 (学術) 子ども支援学 ※
兼任	講師	小西 知世 (54) 〈令和6年4月〉 修士 (法学) 医療関係法規論	兼任	講師	小西 知世 (54) 〈令和6年4月〉 修士 (法学) 医療関係法規論
兼任	講師	大木 俊郎 (62) 〈令和7年4月〉 経済学士 経営組織論	兼任	講師	大木 俊郎 (62) <令和7年4月> 経済学士 経営組織論
兼任	講師	二井矢 旬子 (51) <令和7年4月> 学士(外国研究) 経営のための法律	兼任	講師	二井矢 旬子 (51) <令和7年4月> 学士(外国研究) 経営のための法律
兼任	講師	和田 政彦 (63) 〈令和7年4月〉 学士 (商学) 財務会計論	兼任	講師	和田 政彦 (63) 〈令和7年4月〉 学士(商学) 財務会計論
兼任	講師	細田 忠博 (39) <令和6年4月> 学士 高次脳機能障害作業治療学 ※ 高次脳機能障害作業治療学実習	兼任	講師	細田 忠博 (39) <令和6年4月> 学士 高次脳機能障害作業治療学 ※ 高次脳機能障害作業治療学実習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 その上で, **認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

_【令和元年度】	
【令和2年度】	
【令和3年度】	
【令和4年度】	
・福本倫之教授一身上の都合により就任辞退。後任未定であるが、令和4年3月より専任教員後任選考中。 ・病気加療中により、石上聖子助教の就任が令和4年4月から令和4年9月に遅延。	

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ <u>盟可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

#### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

I				
	完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要な 研究業績を有する実 務家教員数
	12	6	5	3
	名	名	名	名

(注)・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -② 専仟教員等数【専門職大学等】

	Ē	殳 置 時	の計画	画					現在(	報告	時)の状況						
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授		講自	師	助教	計 (B)	助手 (B')				
5	3	1	3	12	0	2		2 1			1	6	0				
(3)	(2)	(1)	(2)	(8)	(0)												
専任教員 (専)			専任教員数 (実(研))	みなし専	任教員数					任教員数 実(研))	みなし専	任教員数					
4		4	4	(	)	1	1 2		1 2			3	(	)			
(1)	( -	4 )	(3)	( (	))	·					( (	))					
	現在(	報告時)(	の完成年度時	の状況				現在(	報告時)	の	完成年度時	の計画					
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	×	<b></b>	講館	師	助教	計 (D)	助手 (D')				
5	3	1	3	12	0	5		3	1		3	12	0				
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0] [0]		0] [0]		[0]		[0]		[0]	[0]	[0]	
専任教員 (専)			専任教員数 (実(研))	みなし専	任教員数				専任教員数 (実専)						任教員数 実(研))	みなし専	任教員数
4		4	4	(	)	4	4		4		4		4		4	0	
[ 0 ]	[ (	0 ]	[ 0 ]	[ (	) ]	[ 0 ]	[ 0 ]		) ]	[ 0 ]		[ 0 ]					

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
  - 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 数員書金を受害済みであり、完成年度までに就任する数員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を配入</u>するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

  - 「現在 (報告時) の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: △1)

  - 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
     なお、みなし専任教員(実み)がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
     「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

### (2) - ③ 年齡構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	3	5
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = \_\_\_\_ 現在(報告時)の状況(B)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	担当予定科目		前充状:	況	京	<b>忙辞</b> 退	人	就任)の理	由					
				必修	大学入門セミナ	学入門セミナー		3											
				必修	運動学 I			3											
				必修	運動学Ⅱ			3											
				必修	作業療法基礎セミナ	— II		3											
				必修	早期体験実習	早期体験実習I		3											
				必修	早期体験実習	I		3											
1	教授	福本 倫之	R4. 2	必修	作業療法評価学	≛Ⅱ		3		D/ 2_ #	i ⊢ Λ#	R 🛆 I –	より就任辞	III ( 4 )					
l '	狄汉	田本 ℍ之	114. 2	必修	高次脳機能障害作業治	療学		3		114. 2 3	工の相	) <u> </u>	<b>みりが江中</b>	区 (4)	'				
				必修	高次脳機能障害作業治療	学実習		3											
				必修	臨床実習I			3											
				必修	臨床実習Ⅲ			3											
				必修	作業療法研究法演習 [ 3														
				必修	作業療法研究法演習 Ⅱ ③		3		]										
				必修	応用作業療法学演習 ③														
				必修	作業療法基礎セミナ	— I	0				·								
				必修	作業療法基礎セミナ	— п		3											
				必修	作業療法評価学	実習		3											
2	助教	石上 聖子	R4. 3	必修	日常生活活動学	全習		3		R4.3病気	療養の	ためR	4.9に就任延	期(4	.)				
				必修	臨床実習I			3											
				必修	臨床実習Ⅲ		3												
				必修	臨床実習Ⅳ			3											
			計 (D)							6任補充状況									
京	就任を辞	退した教員数	担当科	目数の合計(	(a) + (b) + (c)	1)0	の合計	数(a)	1	②の合計	数 (b)	)	③の合計	r数(c)	)				
	-		业	修	21 科目	必作	多	0	科目	必修	0	科目	必修	21	科目				
			選	択	0 科目	選扎	尺	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目				
	2	人	É	l由	0 科目	自日	±	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目				
			i	i†	21 科目	計		0	科目	計	0	科目	計	21	科目				

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	nsı <u>İ</u>	旦当予定科目	後	<b>f充状</b> 》	兄		£	辛任等	の理由			٦	
			該当なし															
			合計	(F)							後	6任補充状況	の集計	(G)	)			
	舌	辛任ℓ	した教員数	担当科目	数の合計	(a) +	(b) + (c)	) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合語					③の合計	†数(	(c)			
				必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	) #	科目
				選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	) #	科目
		0	人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	) #	科目
				Ē	†	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	) #	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員</u>について</u>に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D	) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合					十数(c)			
		必修	21	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	21 科目			
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
2	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
		計	21	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	21 科目			

#### (3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)		2		٦
(2) - ②設置時の計画(A)	=	12 =	16.66	%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人
-----

- (注)  $\cdot$  (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
  - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
			該当なし												
		_		計					<u> </u>	後任補充物	半辺の負	<b>熊</b> 計			
	- Fo	任 I		担当科目数の合調	+ (a) +	(h) + (c)	①の合計	- 数t (a)	1	②の合計			③の合計	- **** (c)	)
<u> </u>	PΤ	ш	7た秋貝奴												
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		^		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	林田

- (注) ・  $rac{c}{c}$  定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 就任を辞退した専任教員が1年前期に担当予定の科目である「大学入門セミナー」は、オムニパス形式で予定しており、辞退した専任教 がはこれ返じた寺は教員が1年前別に注当アだが計古くの。パイテバトにミア 」は、オニーバルがしてアだしてありた。 員が予定した内容を後半に遅延し、補充教員が決定後に開講する予定であるため、講義体系、学生への影響はない。また、病気療養のため 就任を延期した専任教員が1年前期に担当予定の科目である「作業療法基礎セミナーI」は、現在2人体制で開講しているが、オフィスア ワーや講義時間以外に学生からの質問等を受け付けて、教育の質が落ちないように工夫しているため特に学生への影響はない。 「学生への周知方法」 オリエンテーションの際、学生に口頭で通知を行った。新専任教員の赴任後に履修登録の内容を再度口頭で伝達する予定である。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	設生計こ心けのとらる践を職したこ水よ置か画ととる学いに職的展大、教と準ういまで、くに授のがう用と的か活よ向ことを大門をつすの設研も一め、行術識く究的めめなう照充を、さと等到深研目求た的いにら動り上とのが置る中授門るされ実力門 しうのる	遵守事項	入学式後に開催した学生オリエンテーションならびにお「大学入門セミナー」でおりいて、専門職大学及びで説明の設置趣旨等について説明し、学生の理解を促した。	履行中	年度開始において、オリリスを実施において、本サリーを実施専門のを実施専門のをできまります。 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい
認 可 時 (令和4年)	事アにれ業的さと発通ン用念学広本成が等るつ就でると路をに談図業ンよる療需れし達所事やが外報学す修にと安職養需。に図対等る等一、学士がも想援ハ所遇る向動学人すいも的をす拡たいとる職とが結学法対るのさ業リに安こたをに像知広、人拓人に開学も寧援対結学法対るのさ業リに安こたをに像知広、人拓人に開学も寧援との養及ると就るや一け性た極じけ卒・周期需、にめしに、就充との養及ると就るや一け性た極じけ卒・周期需、にめしに、就充とが成び社が職児予シるにめ的てる業能知的要本対るた周学職実た析さ作会示先童防ョ雇懸、な、養生力すかや学すこ進知生相を	遵守事項	児童所等う学を表示を表示を表示を表示を表示を表達を記述を表示を表達を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	履行中	キマ、防事る。しくま拡の像のである。しゃまで、大変を達り宣予をは、戦、城上旨で、戦の、上間の、大変にの、より、大変にの、は、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に

認 可 時 (令和4年)
各じ時と位時科い業設かなたのケこに前力なえ当の的(い過授事がよがめ枠科化あせ教業もを目単のっ時とがこ間と、位て業ュが2及キて2っ後床CEこな科の保教念1増をたりなの間、うの定方方業講設加1て要得非をでと加速のでは実力がか担に分きのれ当し括、単、をに切と分設え一授るくにがっ業修、目ル要前年ムこり、施試予らが係なな質るただ(担位学考改な。で時義けえ4い件す常過履な別がと別臨す験定、生る学いへ。りりく髪を生慮め履性び明、間・らて時るにるに密修る3期過に以床る。さ学じ事修このこ講、く業増負しる修性び明がよりでは、単、をに切との定方方業講設加1で要得非をでと期次がと別臨す験定、生る学いへ。りりく髪を生慮め履性が明が開いるにあた。名別のと要当くスる特次のと、習観してに各・間に響た表業り目さと授と導応業か単30習で授のと要当くスる特次のと、習観してに各・間に響た表業り目さと授と導
遵守事項
4月の1日の1日を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日
履行中
現たて単はを修め数る客す実な確れ習時定の1~、修常なこあくた臨あ期やれる会ののと必要する1多ま的に時担さい員等あいるでは変更である。というでは、過ず、を。観る習負保で委期でおりな要である。となっまで、床たで十なこを変まいまで、などである。は定に当授一さ授を習験在へ習も、て討りな要ではできません。というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次

認 可 時 (令和4年)	「実力で確施善ば授に施当習でにてOS実映あ前実計実必にないないの実際である。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	遵守事項	臨床が現実の は、 に に に に に に に に に に に に に	履行中	臨床実習前OSCEについて、 学生が実習に参加する・技 を身に参加する・ を身に必要付けられる は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
認 可 時 (令和4年)	「IV てての「「でい見学成ン改がよる履い、い臨在日あな受療施等め誤う周修まの授る床宅当こ、ら士指踏とす正・選づ計病習習りと不れ作導まとる確徹をいっての「「でい見学がえもこな底行い画院時時」の明る業ガえもこな底行い画院時時が点、士ラ切学なに切と、いれでび間なが理養イに生いよな。	遵守事項	臨床実習に関する科目に関する科目に関する科目に関する科目に関する科目に関する科目に対してでは、現在では、現在でが、検討をでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	履行中	臨床実習II、III、IVのシラ床実習所施設等でのいまでののいまでのいまでのいまでは、でのいまでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で

認 可 時 (令和4年)	教お実ズ養プリ等リ業業ビ法め能研ど課て編育る育け習等成ロキにハ所所ス士ら力究、程持成水より選論聴ま人ポムきテ童課お業役対をに将かる一め連論聴ま人ポムきテ童課お業役対をに将かる一め強いた本や一リ防ョ支イ理士資たすたわ果も上と会実二学デ、シ通ン援サ学に質教る教た的にさ。に務一のィカー所事事ー療求・育な育っに教せに務一のィカー所事事ー療求・育な育っに教せ	遵守事項	本デリ基テ達サ法れ対能じ年る を、等ビ童デ学め等がを後施 を、等ビ童デ学め等がを後施 を、等ビ童デ学め等がを後施 を、等ビ童デ学め等がを後施 を、等ビ童デ学が等がを後施 を、等ビ童デ学が等がを後施	履行中	本デリ基テ達サ法れ対研る内学予 おにリ発イ療らにた 記事と施上のする からい からい からい からい からい からい からい からい からい からい
認 可 時 (令和4年)	完成年度前に、定年規程に、定年財産の退職年のの退職年のの政策を関係を対したののでは、大きなののでは、大きないでは、大きないでは、ないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	遵守事項	開学の目的や人材像を達成 するために、教員審査を えうる教育研究業績で専 員の比率が高いため、 等の は を を 等の は を を き の 検 計 を 含 め 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	履行中	現在就任している若手の教員に、開学の目的や人材像を達成するために必要積するような環境を整備するような環境を整備する。また、上記の業者ようという。 に計画している。

設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年)			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和6年)			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和7年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和8年)			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

### 7 その他全般的事項

<リハビリテーション学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
設置時の計画変更なし。	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況

FD·SD委員会を設置済み。(資料1「FD·SD委員会規程」参照)

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 令和4年6月に開催予定
- c 委員会の審議事項等
- (1) FD·SD活動の企画、立案に関する事項
- (2) FD·SD活動の実施、運営に関する事項
- (3) FD·SD活動の指導、助言に関する事項
- (4) FD·SD活動の調査、分析に関する事項
- (5) FD·SD活動の評価に関する事項
- (6) その他FD·SD活動の実施に関する事項
- ② 実施状況
  - a 実施内容

未実施

b 実施方法

未実施

c 開催状況(教員の参加状況含む) 未実施

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・令和4年4月開学のため、実績なし。8月及び2月に実施予定。
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - ・令和4年4月開学のため、実績なし。公開方法等については検討中。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

### ① 体制

- a 委員会の設置状況
  - ・設置済み。
  - ・構成員区分「地域」の行方市役所市民福祉部介護福祉課 課長変更のため、
  - 土子秀明氏から白鳥俊幸氏へ変更した。
  - ・構成員区分「地域」の一般社団法人茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会 会長変更のため、
  - 橋本幸雄氏から瀧田昌孝氏へ変更した。
  - 資料2「教育課程連携協議会構成員名簿」参照
- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
  - •年2回開催予定(9月中旬、3月中旬)
- c 委員会の審議事項等
  - ・産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設、その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
  - ・産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及び その実施状況の評価に関する事項
- d その他
  - 特になし。

### ② 審議状況

- a 審議した内容
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
  - ・令和4年4月開学のため、実績なし。

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和4年4月開学のため、実績はない。今後は、新たに設置した「アール医療専門職大学自己点検・評価委員会」において、「アール医療専門職大学自己点検・評価規程」に基づき、自己点検・評価項目、評価基準等を策定し、令和5年7月までに自己点検・評価を実施して報告書としてまとめる予定である。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - 令和5年8月1日 公表予定
  - b 公表方法
    - ・自己点検・評価報告書として大学ホームページ、刊行物及び電子媒体等により学内外に公表予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・完成年度後に評価機関の評価を受けるべく、評価機関を含め学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (5) 情報公表に関する事項

0	〇 設置計画履行状況報告書(令和4年度)							
á	a 公表予定の有無	ĺ	有	•	無	J		
k	aで「有」の場合≫ o 公表(予定)時期 c 公表方法		調査結果公		_	・ 公表後2~3ヶ月以内 その他(	公表後3ヶ月以降 )	)
	aで公表「無」の場合≫ d 公表しない理由	(						J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

### 【設置計画履行状況報告書‧補足説明資料(専門職大学等)】

#### (共通留意事項)

- 〇「認可(設置)時の計画」には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」で記載した計画を記入ください。
- ○認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。
- 〇「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。

認可(設置)時の計画

その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

### ① 入学者選抜

### 認可(設置)時の計画 履 行 状 況 ※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と 受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。 多様性に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 本学は、多様な人材確保のため、入学者選抜において、推薦型入試の 令和4年度生入学者選抜において、社会人推薦型選抜を5回計画したが出願者は0名 中に社会人推薦型選抜を設け、高等学校卒業見込みの者又は既卒者以であった。 外に、学び直しの機会を求める社会人にも門戸を開放している。 令和5年度生入学者選抜においても社会人推薦型選抜を実施する予定である。 【定員枠】 社会人推薦型選抜の定員枠は、指定校推薦型選抜、公募制推薦型選 抜、社会人推薦型選抜をあわせて入学定員の5割としている。 【出願資格】 社会人推薦型選抜の出願資格は、入学時において社会人経験を1年以 上有する者(パート・アルバイトの実務経験含む。)で、本学を専願する者 について、社会人としての経験と学び直しの意欲・適性があり、卒業後、 理学療法士・作業療法士として地域社会に貢献することを希望するもの としている。 【入試科目】 1、書類審査(調査書、志望理由書、自己推薦書) 2、小論文(60分) 3、個人面接(15分)

### 2 臨地実務実習

・実習先の確保の状況 茨城県を中心にとした急性期から生活期までの様々な領域の病院、診療所、介護老人保健施設、通所リハビリテーション施設、訪問リハビリテーション施設等実習施設を確保している。実習先の確保状況は、臨地 実務実習受け入れは、理学療法学科43施設、作業療法学科40施設から 承諾を得ている。	変更なし。
・実習水準の確保の方策 臨床実習指導者会議の開催、客観的臨床能力試験等の実施による学生の実習参加基準・要件の作成、実習指導者に対する学生の配置を適正に保つことで、実習指導者の目が行き届いた実習、実習施設で行う施設内研修会への講師派遣、研究支援活動を計画している。	臨床実習委員会を設置して、委員会を中心にして臨床実習指導者会議等の計画を検 討している。
・実習先との連携体制 実習前には、臨床実習指導者会議の開催し、実習に出向く学生と指導 者側が事前に面談し、実習内容を確認して円滑な受け入れと学生の精 神的緊張緩和に努める計画である。実習中は、各実習施設に最低1名の 専任教員を実習担当者として配置し、実習が円滑にできるよう支援する 体制を計画している。実習後は、当該学生の実習成績を指導者へ伝え、 その後の指導方向性について意見交換する予定である。	臨床実習委員会を設置して、委員会を中心にして臨床実習指導者会議や指導体制 について計画を検討している。
・ 連携実務演習等 該当なし。	該当なし。

記入ください。

行 状 況

※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても

### アール医療専門職大学

### ③ その他

認 可(設置)時の計画	履行状況
	※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても
・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置	記入ください。
理学療法学科及び作業療法学科において、同時に授業を行う学生数 は、40人以下を原則としている。	同時に授業を行う学生数は、理学療法学科1年43人、作業療法学科1年36人である。 理学療法学科は40人を少し超える数で授業を行っているため、実施した際の支障は特にない。
<ul> <li>・入学前の実務経験を単位に換算した場合、その実施状況 (換算の対象とした実務経験の内容と、換算した単位数、適切な換算 が行われていることを説明すること。また換算の根拠となる規定等も 添付すること)</li> </ul>	該当なし